

(2) サン・ローレンソ小移住地

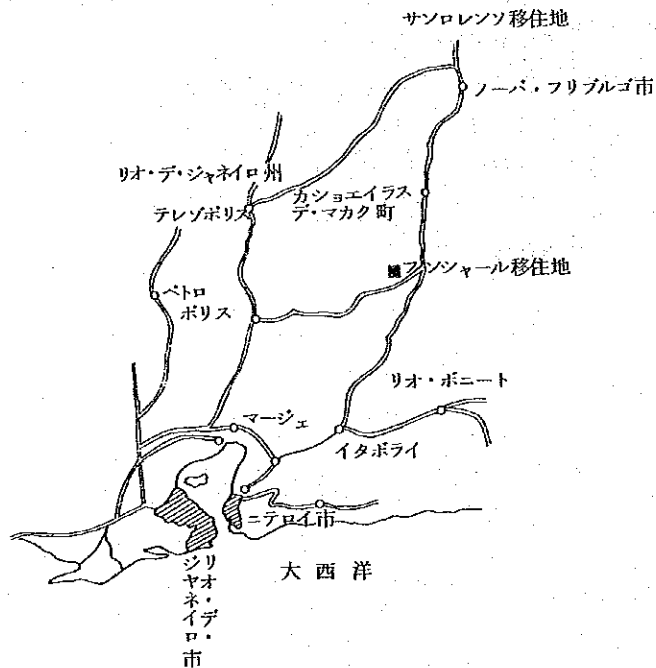
所在地	リオ・デ・ジャネイロ州ノーバ・フリブルゴ郡カンボ・コエーリョ地区、及びサン・ローレンソ地区	
面積	168 ha	
経緯	雇用、借地、分益農の独立を目的として事業団によって設定されたブラジルで最初の小移住地である。1975年より入植が始まったが、現在は2戸が入植定住している。	
自然環境	標高 地形 地質・土壌 植生 気候	1,100 m~1,200 m 海岸山脈の山腹に位置し、全体的には移住地入口より中心部までは平坦な地形をなし、先に進むに従い急勾配となる。前方に標高約2,000 mの山波を見る。 表土はやゝ黒色を呈し、可成りの有機質を含み肥沃である。 平坦部は牧草原野、丘陵部は原生林 気温0℃~3.0℃、年間雨量約1,500 mm 高地であり、南緯22°であっても可成り冷涼地である。近隣はリオ・デ・ジャネイロの避暑地として有名である。排水については平坦地は降雨により滞水することがある。
社会環境	主要都市への交通手段 地区内道路整備状況 電気 飲料水 公共施設	ノーバ・フリブルゴ(人口14万人)までの交通は至便であるが、ノーバ・フリブルゴ~小移住地間(40 km)は定期バスが日に2回運行しているが主に自家用車を使用している。 土道である。雨期には通行に困難を来すこともある。 自家発電 井戸を利用(5~10 m) 小移地区近辺にはなく、全ての公共施設に恵まれているノーバ・フリブルゴに依存している。

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区	分	戸数	人数	戸数
日本人	居住		2	7	2
	非居住		1	4	—
	計		3	11	2
現地人			3	10	3

1987年4月1日現在

分譲状況	総面積	168 ha (内保留地17.1 ha)
	ロッテ面積	27.9 ha
	分譲条件及び価格	一括払4008千円 分割払頭金10% 3年据置 5年分割払 利息12%
	分譲可能面積	150.9 ha (6ロッテ) 全て分譲済
	地権取得状況	6ロッテ全て取得済

地区略図



II-1 レシーフエ支所

1. 移住所在地域の概要

管轄地域	<p>ブラジル東部の次の地域を管轄する。 セアラ州 ベルナンブコ州 リオ・グランデ・ド・ノルテ州 パライーバ州 アラゴアス州 セルジッペ州 バイア州</p>
概	<p>ブラジル東部に位置する当所管内は北からセアラ州、リオ・グランデ・ド・ノルテ州、パライーバ州、ベルナンブコ州、アラゴアス州、セルジッペ州、それにバイア州の7つの州で、凡そ、南緯3°から18°、西経34°から46°にまたがり、面積にして日本の約2.7倍に相当する。</p> <p>現在、ブラジルは新興工業国と言われる通り、南部サンパウロ州を中心とする諸州の工業化の進展は目覚ましく、南米大陸の諸国をリードする大国として国民所得も上昇してきているところであるが、これに対して、東北部及び北部ブラジルは南部諸州との格差が大きく、一国の中に南北問題を抱えているとさえ言われている。</p> <p>しかし、この国の歴史的背景をみると、現在のサルバドール市がブラジル最初の首都であったことにも象徴されるように、レンシーフェ市を含む東北伯での砂糖産業や綿花産業で栄えた地域であったが、気象の変化により内陸部の乾燥が進むと共に、各種の産業が南へ移動したため、近代的な農業開発、社会開発が停滞してきたのが現状である。</p> <p>ブラジル政府はこの状況を打破するため、1958年東北伯開発庁を設置し、農業開発、社会開発に力を入れて来ている。</p> <p>特にこの域内を、南はミナスジュライス州を源流に、バイア、ベルナンブコ、アラゴアス、セルジッペ各州を貫流しているサンフランシスコ河（全長3,160 km、流域面積63万km²）流域開発計画は画期的で、中でも中流のベルナンブコとバイアの州境ソブラジニョのダム建設による発電（出力105万kW）と、農業灌漑を目的とした大型・多目的ダムの建設により、日本の瀬戸内海に匹敵する人造湖の出現は、乾燥地帯に大きな恩恵を与えている。更に、中央高原セラード開発計画の流れに沿って、日本人（系）農家も続々この地域へ転入し大型機械農業を始めており、ブラジル穀倉地帯拡大の先鞭を一つ一つつけることは、極めて高く評価されているところである。</p>
要	<p>〔レンシーフェ市〕</p> <p>東北伯地域の政治・文化の中心地、人口140万人でベルナンブコ州の首府、1980年の国勢調査ではブラジル第3の都市から第6位に落ちているが、これは首府の人口分散計画が功を奏したもので、大レンシーフェ圏内の人口をもってランク付けをするとSão Paulo, Rio de Janeiro, Belo Horizonte に次ぐ第4の都市となる。古くから砂糖、サイザレ麻、綿、植物油等々の輸出港であるが、近年 SUDENE の工業誘致政策により軽工業地帯として発展しており、SUAPE工業港の造成が着手される等、輸出回廊整備、近代化も着々と進められている。</p> <p>観光地としても有名で「南米のヴェニス」と呼ばれる程市内には運河が多く、隣接地オリンダ市と共に歴史的建物が多い。</p> <p>〔サルバドール〕</p> <p>人口200万人、バイア州の首府、1501年11月1日アメリコ・ベスブーチによって発見され1549年、初代総督トメ・デ・ノヴァにより創設され、1763年まで植民地時代のブラジルの首府であった。</p> <p>市は丘の上の上町と海岸沿いの下町（商業地区）に分かれ、これをエレベーターで連絡している。</p> <p>市内には365カ所の教会（カトリック）があり歴史的にも文化的にも日本の京都に当たる。</p> <p>古くからココア、煙草、鋳産物の輸出港として栄え、近年石油が州内に産出されるに及んで石油化学工業地帯として発展しつつある。</p>

2. 東北伯日本人移住の歴史

1. 戦前の日本人移住:

戦前、東北伯向け日本人移住は行われていない。僅かに数戸が南伯、北伯、或いは、ベルーからアンデスを越えて転住し、商業、又は農業に従事していた日本人があった。

例えば、フォルタレーザ市の藤田十作氏(故人、ベルー、ボリビアを経てアンデスを越えて、1922年フォルタレーザ市定着、熊本県八代市出身)、レンシーフェ市の玄場平治氏(故人、商業、佐藤武雄氏(北海道、マウエス)、樽松四郎氏(貿易、サンパウロ)、平川平次氏(トメアス)、猪又武美氏(トメアス)、大月氏(それぞれ農業)、又、バイア州にはサルバドール近郊に、島田孝之助氏(パリンチンス)、渡辺氏(サンパウロ)、時氏(サンパウロ)、小笠原氏(サンパウロ)(それぞれ農業。子孫は現存する。)の各氏の名をあげることが出来る。

これらの日本人は、戦後、日本からこの地域へ移住者を送る場合、受入れ側に立って、公私に亘って便宜を与えてくれた。

2. 戦後の日本人移住:

戦後の日本人移住は、INIC(INCRAの前身)認可の日本人移住者導入特許人制度のもとに開始された。先ず、1953年にバイア州ウナ移住地向け38戸235人が導入された。このグループは、入植間もなく一部の者が配耕地の不満からトラブルを起こし、一時過半数の退耕者を出すに至った。所謂ウナ事件である。尚、ウナ退耕者の多くは、イツベラ移住地、ミナス州のジャイーバ移住地へ受入れられたが、その後イツベラの4戸を残して、南伯へ再度転耕して行った。

その後1954年に1戸、55年に4戸と細々とつづいたが、56年に至り、移住者数が急激に増加した。即ち、ピウン移住地(リオ・グランデ・ド・ノルテ州)へ9戸46人、イツベラ移住地(バイア)へ6戸41人、ウナ移住地へ8戸46人が導入されている。この大きな理由は、東北伯に日本人移住者を受入れ、農業開発を振興すべしと言う声が朝野に広がり、中でも、東北伯カトリック司教会議(カンピーナ・グランデで開催)は、大統領へ建白書を提出して、日本人移住者導入を促したりした。これに刺激されて、連邦、州機関により積極的に移住地造成が行われた。その結果、1958年にはリオ・ポニート(ベルナンブコ)ジュッセルーノ・クピチェック(J. K. バイア)やレンシーフェ近郊農の受入れが始まり、翌59年にはピオ12世(セアラ)、ブナウ(リオ・グランデ・ド・ノルテ)への導入が開始され、次の60年にかけて総計239戸の移住者が管内に導入されるに至った。

その後、導入数は急激に減少し、1964年から67年にかけては完全に途絶えてしまった。この後、技術移住が農業移住に取って代わり、68年には9名の青年技師がレンシーフェ・サドキン社へ入社。そして、これも伯側の技術向上により大量導入に至らず、2~3年に1~2名という数に止まっている。

そしていよいよ1985年、体験移住の時代が到来し、海外開発青年制度が発足した。現在、2回生1名(レンシーフェ文協)、3回生2名(バイア連合会、南バイア連合会各1名)が配属された。因みに、86年には呼び寄せ雇用農青年1名が、久しぶりにウナに入植した。

一 海外開発青年受入れ状況 一

* 1回生(1986年) 与那嶺 剛(沖縄県)	ジュアセイロ島田建治農場配耕 コチア産組中央会より1988年6月移管
* 2回生(1987年) 中村 さと子(大分県)	レンシーフェ日本文化協会、団体事務
* 3回生(1988年) 藤田 旭(大阪府)	バイア日伯文化協会連合会、団体事務
* " (") 宝田 克子(山口県)	南バイア日本人会連合会、日本語教師

入植状況	入植累計	9戸 (うち現地入植1戸)	(1991年3月1日現在)
	退耕累計	4戸	
	独立	1戸	
	現在	6戸 18名 (1戸は高令の為隠居) (3名日本へ出稼)	

主な出身県名 : 長野, 鹿児島

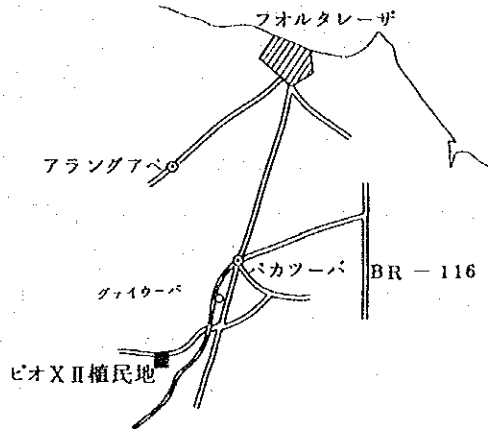
入植者世帯数	入植数 区分		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
	日本人	居住	6	18	6
		非居住	-	-	-
計		6	18	6	

1991年3月1日現在

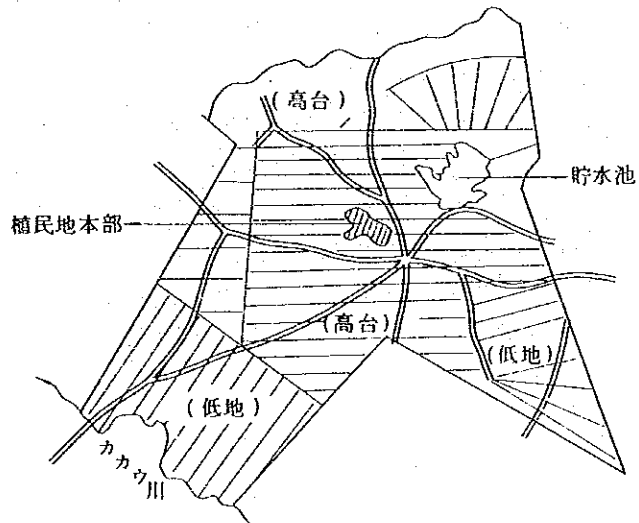
分譲状況	総面積	1,390 ha
	ロッテ面積	1ロッテ約20 ha
	分譲条件及価格	本地券交付条件は土地, 家屋を含め, 約7,000 Cr\$ 10年の分割払いで全戸完済(1974年11月)
	地権取得	全戸取得済

農業	主作目	鶏卵, そ菜
	形態	養鶏専業農家(2戸) そ菜専業農家(2戸)単一形態のため危険性が高い。
	農耕具普及状況	トラック 0.8台, モーター 2.0台, 揚水ポンプ 1.0, 他
	家畜飼育頭数	山羊(20頭), ヒツジ(3頭), 肉牛(仔10頭)
	農業援護機関	
	金融機関	銀行(南米・ブラジル・ノルデステ)
その他	この地域は乾燥地帯で, 灌漑農業が行なわれている。	

地区略図



移住地略図



(2) ピウン移住地

所在地	リオ・グランデ・ド・ノルテ州ニジャ・フロresta郡ピウン移住地 PIC-PIUM, MUNICÍPIO DE NISIA FLORESTA, ESTADO DE RIO GRANDE DO NORTE (註, PIC=PROJETO INTEGRADO DE COLONIZAÇÃOの略)	
面積	3,300 ha	
経緯	地域の農業技術の向上と、州都ナタール市(人口60万人)への蔬菜、果実の供給を目的として、日本人と伯国人を混合入植させるべく計画。1956年創設された州と連邦の共営移住地である。 入植当初はメロンが大当たりし、前途に大きな希望がもたれたが、1960年に集中豪雨があり一時移住者は動揺し、更に1970年8月家長の集団交通事故が発生したため転住が続いて、現在の居住者数は3戸(内1戸は兼業農家)となっている。家長の高令化、後継者の入植地はなれが進み、別荘化している。	
自然環境	地質・土壌 植生・林相 気候	形 河岸の湿地帯とそれに連なる緩傾斜の高台地。 低地は有機質の多い黒泥質土壌、台地は砂質土。 低地は湿地帯草類。高台は疎林。附近高台に椰子園あり。 年平均気温25.3℃、平均最高気温29.9℃、平均最低気温21.8℃、 年間降雨量1,126.8mm 雨期2～8月 乾期9～1月
社会環境	主要都市への交通手段 市場 地区内道路整備状況 電気 飲料水 公共施設	移住地～ナタール市間は、完全舗装道路でバスその他車輛交通ひんげん。 ナタール～レンシーフェ間も、完全舗装道路で、バスその他車輛の交通が非常に多い。(バス5時間) ナタール市が主な出荷先であるが、市場狭小なため、乾期はレンシーフェ市にも出荷している。(主として個人出荷) ナタール市は近年発展が著しくPETROBRASの進出により、一層、拍車が掛っている。 砂道。雨期通行支障なし。 全戸電化済。 飲料水は素掘井戸で水質良好、水量豊富。 小学校、クラブ1
入植状況	入植累計 11戸(うち現地入植2戸) 退耕累計 8戸 現在 3戸 5名 1991年3月1日現在	

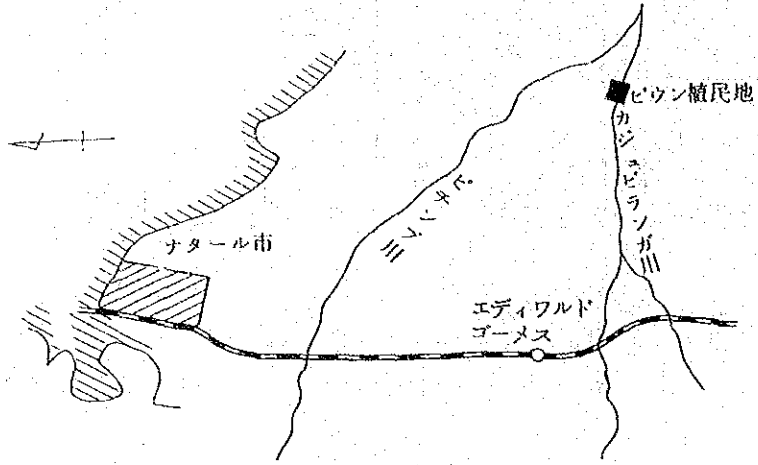
主な出身県名：神奈川，熊本，栃木

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸数	人数	戸数
	日本人	居住		3	5
非居住			—	—	—
計			3	5	3

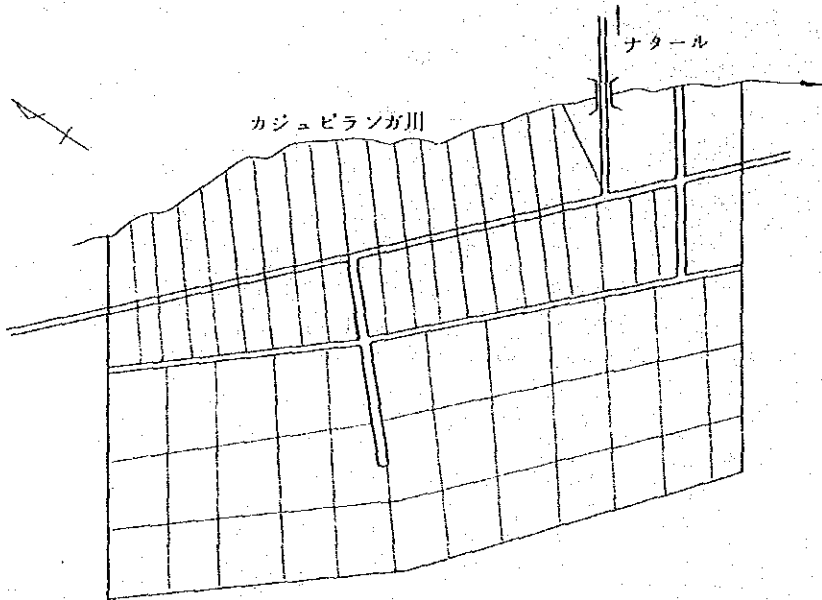
1988年4月1日現在

分譲状況	総面積	3.300 ha
	ロッテ面積	1 ロッテ 5.0 ha 台地 4.7.0 ~ 4.7.5 ha 低地 2.5 ~ 3.0 ha
農業	分譲条件及価格	1975年本地権交付，土地，家屋含み約8,000~9,000 Cr\$分割払。 (地権交付時の条件)
	地権交付	全戸取得済。
農業	主作目形	グラジオラス，バナナ，柑橘 メロン，スイカ等蔬菜を主体とし，これにグラジオラス等の花卉を組み合わせた経営
	農耕具普及状況	耕耘機 1.0台，動噴 1.0台，他
	家畜飼育頭数	特になし
	営農援護機関	
	金融機関	銀行 ブラジル銀行
その他	1 ロッテ 5.0 haが砂質土の台地で占められ，台地にはココヤシ，カヂューが植え付けられているが地力にとほしいため生育は芳しくなく，そのため低地約5 haを利用したバナナ，花卉，柑橘蔬菜栽培が主体となっている。	

地区略図



移住地略図



(3) リオ・ボニート移住地

所在地	ペルナンブコ州ボニート郡リオ・ボニート移住地 PIC-RIO BONITO, MUNICÍPIO DE BONITO, ESTADO DE PERNAMBUCO (註, PIC=PROJETO INTEGRADO DE COLONIZAÇÃOの略)	
面積	1,380ha	
経緯	<p>1956年, パライバ州カンピーナグランデ市で開催された東北伯カトリック司教会議の決議により, 東北伯地域の経済および社会の発展と東北伯人の定着, 更にはレシーフェ市の食糧供給地帯とする目的で, INIC(現INCRA)が創立したものである。</p> <p>日本人に対しては, 特に夏季乾燥期に標高の高い土地を利用しての蔬菜栽培が期待されていた。</p> <p>日本人移住者は1958年に5世帯, 1960年に9世帯が日本からの直来で入植した。</p> <p>その後貸与物件(車輛)の利用をめぐって感情的な対立が生じ転出する者が出た。逆にブナウ移住地からの転出者が入植する等, 一時的移転が激しかったが, 結局, 現在日本人移住者は14世帯が入植している。移住地は1973年INCRAの引上げにともない郡に編入された。 (内4家長は日本へ出稼中)</p>	
自然環境	地形	全体として起伏の多い丘陵地で溪流が各所にある。
	地質・土壌	高地部砂壤土, 低地部(谷間)は植壤土〜壤土
	植生・林相	森林多い(主として再生林)
	気候	年平均気温22.3℃, 平均最高気温26.8℃, 平均最低気温17.7℃ 年間降雨量1900mm 雨期3〜8月 乾期9〜2月 区別は比較的明確
社会環境	主要都市への交通手段	レシーフェ〜ボニート間, 及びボニート〜リオ・ボニート植民地間は舗装されている。 レシーフェ市〜ボニート市は定期バス1日3往復。 レシーフェ市人口 140万人 ボニート市人口 4万人
	市場	主体はレシーフェ市, 一部カルアル市へ各戸出荷, ただし, 花卉栽培は共同出荷
	地区内道路整備状況	良好。幹線8m巾, 支線6m巾。1982年度, 事業団より, 道路対策として, 道路用機械購入費19,225千円を補助した。
	電気	全地区電化済
	飲料水	各戸素掘井戸, 水質良好, 水量豊富。
	公共施設	ボニート市には無料診療所のほか, 社会保険の適用が受けられる診療所および総合病院がある。 学校は移住地内に農村小学校が1校ある。中学, 高校はボニート市にある。 他の施設としては, 農協事務所1, 売店1, 倉庫, 修理工場1, 製材所1, 等があるが郡へ移管された後は活用されていない。
	公民館	当団の助成(6,612千円)を受けて昭和62年に竣工

入植戸数(内地員)	年度	33	34	35	現地入植者
	戸数	5		9	13
	人員				

主な出身県名：福岡，長野，長崎

入植世帯数	入植数 区分		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
	日本人	居住	14	48	14
		非居住	-	-	-
計		14	48	14	

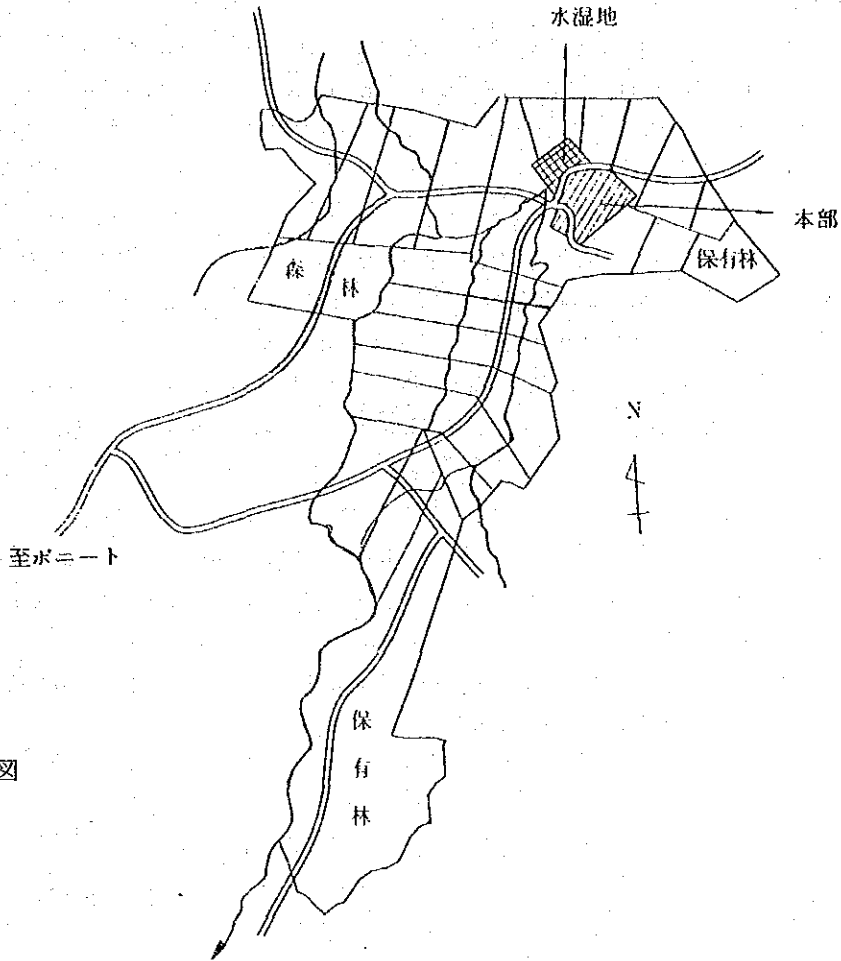
1991年3月1日現在

(4戸主10名出稼)

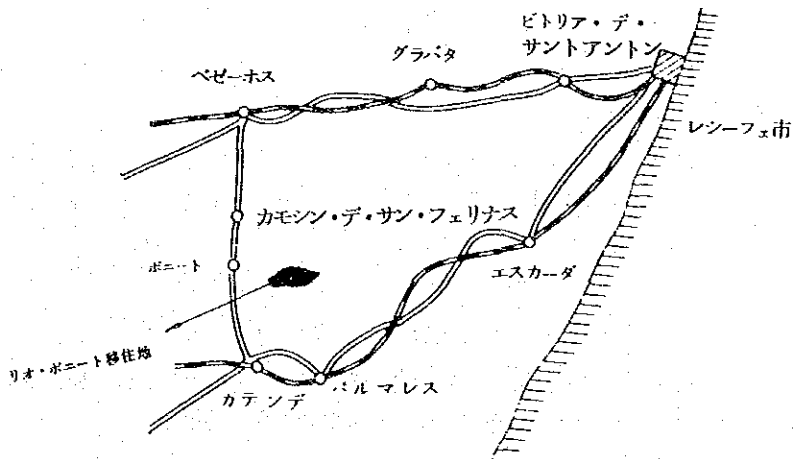
分譲状況	総面積	1,380 ha
	ロッテ面積	1ロッテ約20~25 ha
	分譲条件及び価格 地権取得	1973年12月31日本地券交付6,000~10,000 Cr\$, 10年年賦払 全戸取得済

農業	主作目	バラ，キャベツ，ピーマン，グラビオーラ，トマト
	形態	バラ，グラジオラス等を花卉に蔬菜を組み合わせた経営
	農機具普及状況	トラック 0.5台，トラクター 0.5台，動噴 1.0台， スプリンクラー 28.8基，他
	家畜飼育頭数	特にない
営農	営農支援機関	
	営農指導	
	金融機関	銀行(ブラジル・南米)
主作物販売取扱機関	卸売商人，CEASA	
その他	当初マラクジャ栽培が順調に伸びていたが値下がりにより蔬菜に転向，永年作物として柑橘が植えつけられた。その後，近年ではサンパウロより転住してきた者が，バラ，グラジオラス等の花卉栽培を導入，これが現在営農の主体となっている。	

移住地略図



地区略図



(4) ウナ移住地

所在地	バイヤ州ウナ郡ウナ移住地 PIC UNA, MUNICÍPIO DA UNA, ESTADO DA BAHIA (註, PIC=PROJETO INTEGRADO DE COLONIZAÇÃOの略)	
面積	5,494 ha	
経緯	<p>1941年バイヤ州が私有地を買収し、州内農業者の定着を目的として創設した移住地であったが、1949年連邦直営となった。第2次大戦後ブラジルに日本人の移住が再開されてアマゾン地域と時を同じくして最初に日本人移住者が集団入植した移住地である。</p> <p>1953年より4年に亘り50世帯が入植したが日本人移住者は入植後まもなく一部の煽動者により事件を起こし15世帯の離脱者を出し、内10世帯はイツベラ移住地へ、5世帯はジャイーバ移住地へ移転した。</p>	
自然環境	地質・土壌 植生・林相 気候	<p>波状地形、小河川およびその流域低湿地、傾斜地および高台から成る。</p> <p>低地は有機質に富む土壌。傾斜地および高台地は第三紀層の砂質土または砂質土壌</p> <p>熱帯降雨林で、林相は密である。</p> <p>年平均気温22.5℃、平均最高気温25.0℃、平均最低気温20.0℃</p> <p>年間降雨量2300mm</p> <p>雨期4～8月、乾期9～3月</p>
社会環境	主要都市への交通手段 市場 地区内道路整備状況 電気 公共施設 公民館	<p>ウナ移住地～イタブナ間 砂利舗装道、毎日バス往復</p> <p>イタブナ～サルバドール間 定期バス毎日ひんばん、所要8～10時間</p> <p>ウナ～イレウス間 直通道路開通</p> <p>イタブナ、イレウスに空港あり</p> <p>イタブナ市人口 13.2万人(130km)、ウナ町人口 2.3万人(10km)</p> <p>イレウス市人口 約14.5万人</p> <p>イタブナ市、ウナ町、サルバドール市、サン・パウロ市</p> <p>良好</p> <p>センター地区は、ウナ町より送電々化済。またロッテ内は、伯国銀行からの資金導入と事業団の電化助成により1981年に全域が電化した。 (事業団補助額14,681千円)</p> <p>小学校2、会館1、倉庫1、修理工場1、売店1</p> <p>移住地内に診療所、楽局があり医師看護婦が常駐している。</p> <p>小学校(5年生)は地区内にあるが、中学以上の上級学校はウナ町、イタブナ市に、大学はサルバドール市に寄宿・通学している。</p> <p>当団助成(10,425千円)を受けて昭和55年12月建設。</p>

入植戸数(と内地員)	年度	1953	1954	1955	1956
	戸数	38	1	4	8
	人員				
	現地入植者				
		23			

主な出身県名：北海道, 京都, 東京

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸数	人数	戸数
	日本人	居住	36	173	27
		非居住	-	-	-
計		36	173	27	

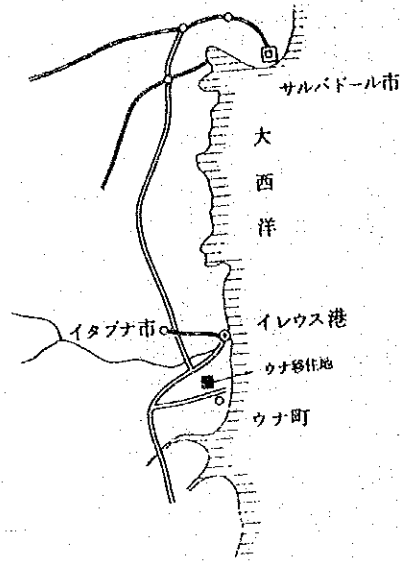
1991年3月1日現在

(出稼者多数)

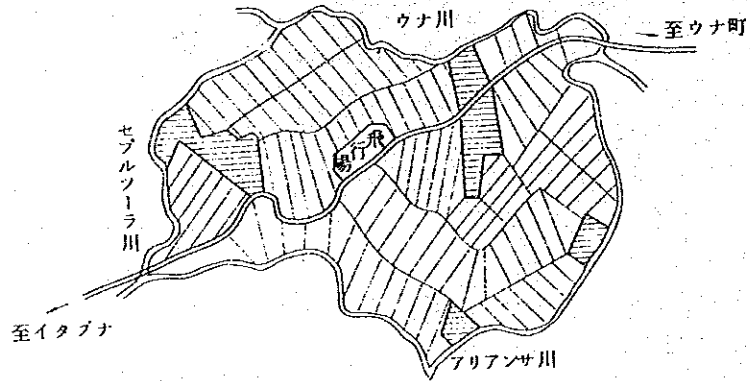
分譲状況	総面積	5.494 ha
	ロッテ面積	30 ha
	分譲条件及び価格	26~40 ha 1ロッテ Cr\$3,000~Cr\$7,000 一括払~10年払 (1975年10月10日現在)
分譲状況 地権取得	分譲状況	満植
	地権取得	分譲契約期日は1975年10月から1976年7月で全戸取得済

農業	主作目態	バラゴム, コショウ, カカオ, マンゴスチン バラゴムを主体に, コショウ, カカオ等を組み合わせた経営, そ菜栽培農家もある。
	農機具普及状況	トラック 0.8台, トラクター 0.6台 動噴 2台, 他
	営農援護機関	
	営農指導	カカオ栽培計画実行委員会 (CEPLAC)
	金融機関	銀行, (ブラジル: 南米)
主作物販売取扱機関	仲介人に庭先販売, ウナ農協	
その他	入植当初, 植民局 (現在の INCRA) よりゴムの栽培が義務づけられた。そのゴムが採液の段階に入って病害におかされ経営的に低迷していたが, その後カカオ, コショウ, ガラナ等が導入され営農は立ち直ったかに見えたが, インフレの影響で経営的には低迷している。また, 近年マンゴスチン栽培に着手し, 南伯市場で好評。	

地区略図



移住地略図



(5) カーボ移住地

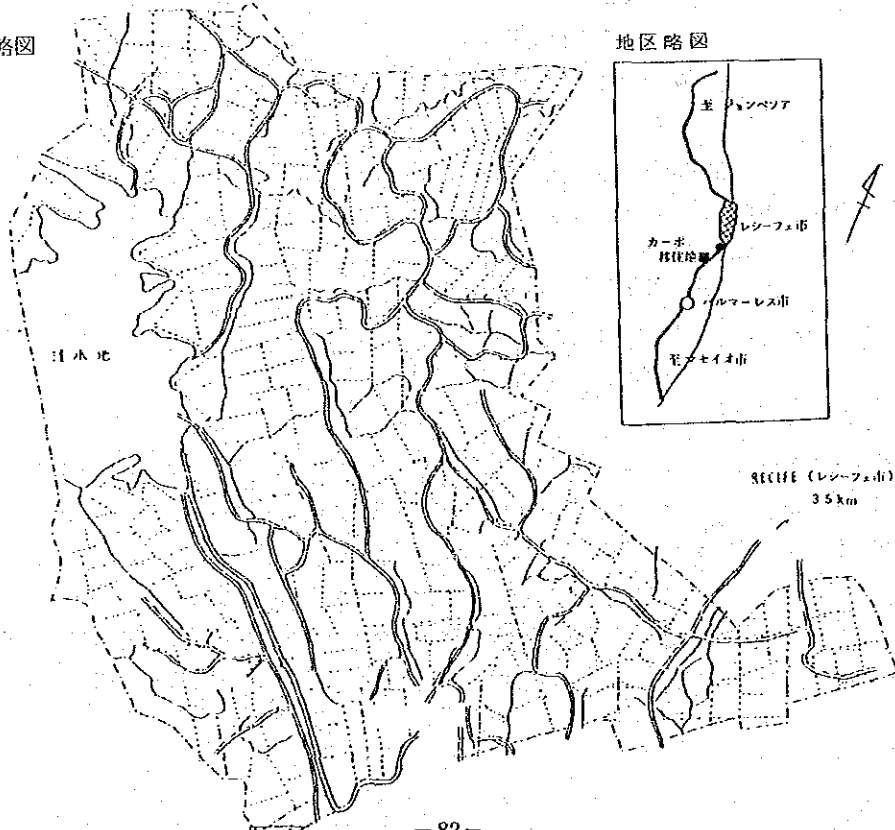
所在地	ベルナンブコ州カーボ郡カーボ移住地 COLONIA CABO, MUNICIPIO DE CABO, ESTADO DE PERNAMBUCO	
面積	3,500ha	
経緯	<p>ベルナンブコ州政府は、土地を持たない農民に土地を与え生産意欲を向上させるため、1963年レシーフェ南方30kmの不良甘蔗耕地を接收し、州直営の移住地として創設した。</p> <p>この移住地に対し、ブナウ移住地の転出者、レシーフェ近郊分益農の日本人合計12家族が1964年から66年にかけて入植した。</p> <p>しかし現在、当移住地で農業を営んでいる者は2戸である。</p>	
自然環境	地質・土壌 植生・林相 気候	<p>標高13m 緩傾斜の起伏に富む。</p> <p>砂糖キビ廃園跡のやせ地。下層に不透性粘土盤層あり。</p> <p>砂糖キビ畑の跡地</p> <p>年平均気温25.3℃、最高平均28.9℃、最低平均21.8℃、雨量2094.1mm</p>
社会環境	<p>主要都市への交通手段</p> <p>市 場</p> <p>地区内道路整備状況</p> <p>電 気</p> <p>飲 料 水</p> <p>公 共 施 設</p>	<p>移住地入口近くを、レシーフェ～サルバドール間国道(BR101号線、完全舗装)が通っている。</p> <p>カーボ市(人口10万人)徒歩20-30分</p> <p>レシーフェ(130万人)へは35km</p> <p>レシーフェ市、カーボ市</p> <p>専業農家2戸は自家用車で出荷する程度</p> <p>整備がおくれており、降雨が続くと車輛の通行が非常に困難となる。</p> <p>電化済</p> <p>井戸水および河川水を利用</p> <p>地区内に小学校が1校ある。日本人子弟はカーボ市の学校へ徒歩通学している。</p> <p>医療機関はカーボ市、レシーフェ市にある。</p>
入植状況	<p>入植累計</p> <p>退耕累計</p> <p>現在戸数</p>	<p>12戸 ブナウ、リオ・ボニート退耕者及びレシーフェ近郊分益農</p> <p>9戸 レシーフェ市内、サンパウロ州</p> <p>2戸 5名</p> <p style="text-align: right;">(1991年3月)</p>

入植世帯数	入植地		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸数	人数	戸数
	日本人	居住	2	5	2
非居住		—	—	—	
計		2	5	2	

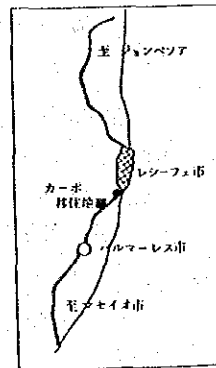
1991年4月1日現在

分譲状況	総面積	3,500 ha
	ロット面積	1ロット50 ha
農業	分譲条件及び価格	土地代3,300 Cr\$, 据置なし10年分括又は一括払い(同額)
	地権取得	全戸取得済
農業	主作目	蔬菜が中心で一部花卉, ゴヤバ栽培を行なっている。
	形態	不良甘蔗地であっただけに地力に劣るが, 都市に近く地の利を生かした近郊型農業
	営農援護機関	銀行 ノルデステ銀行
	営農指導	
	金融機関	

移住地略図



地区略図



3.5 km (レンフェス市)

(6) イツベラ移住地

所在地	バイア州 イツベラ郡イツベラ移住地 PIC-ITUBERA, MUNICÍPIO DE ITUBERA, ESTADO DA BAHIA (註 PIC=PROJETO INTEGRADO DE COLONIZAÇÃOの略)															
面積	5,000 ha															
経緯	1954年に州内農業者の定着を目的として創立された州政府の移住地である。1953年日本人の入植は、ウナ移住地の事件で離脱した15世帯のうち、10世帯が入植した。当時この移住地は正式に開設されていなかった。転住後間もなく、マラリヤが流行し猛威をふるったため、8世帯が離脱したが、その後他からの転住者もあり、二世の分家独立を含めて24戸になっている。															
自然環境	地質・土壌	地形	標高160~230m, 起伏の多い山陵地, 水流に恵まれている。 第3紀層砂岩母材, 鉄分の含有多く壤土ないし砂質壤土。													
	植生・林相	気候	原生林, 再生林あり, 林相は相当厚く有用林も含まれる。 最高平均気温27.8℃, 最低平均気温20.2℃, 年間平均気温23.6℃ 雨季2~7月, 乾期8~1月, 平均年間降雨量2100mm													
社会環境	主要都市への交通手段	移住地よりイツベラ町まで10km, バレンサ市まで52kmで, 州都サルバドール市へは, 西方ガンドウ町を経て国道101号線により通じている。 サルバドール市より国道101号の州道545号分岐点迄250kmおよびバレンサ市までの52kmは完全舗装, バレンサ市および101号道沿いのガンドウ町との間はそれぞれ未舗装であるが, 道路整備は良好である。 イツベラ町0.5万人 バレンサ市6.6万人														
	市場	イツベラ町, バレンサ市, サルバドール市が主な市場である。														
	地区内道路整備状況	砂利道路および盛土である。														
	電気	電化(1982年度。事業団補助9,088千円)														
	飲料水	30m程度掘削すると飲料水が得られるが, 現在は河川水, 湧水を利用している。														
	公民館	当団助成(3,000千円)を受けて1987年1月竣工														
入植戸数と人員(内地)	年度	1953	1957	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1980	1989	現地入植者
	戸数	10	6	2	3	1	2	3	-	2	2	1	2	-	-	7
	人員退職											2	1	1	1	1

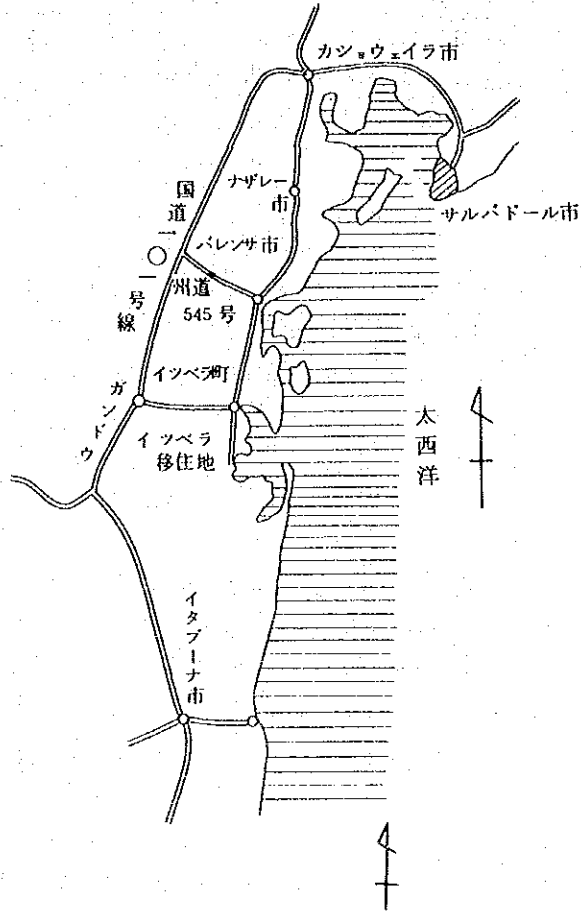
主な出身県名：福島，福岡，三重，北海道

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸数	人数	戸数
日本人	居住		24	95	24
	非居住		1	1	1
	計		25	96	25

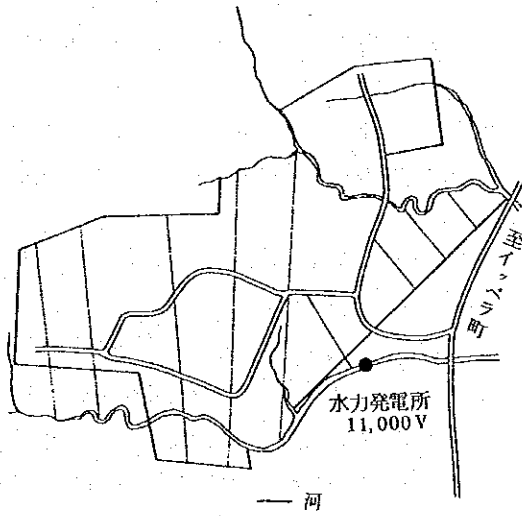
1991年3月1日現在

分譲状況	<p>総面積 5,000 ha</p> <p>ロッテ面積 25 ha</p> <p>分譲条件及び価格 25 ha当たり6,500 Cr\$, 5年分割払，一括払可能。 18 ha～25 ha 1ロッテ分譲価格，一括払～20年々賦 Cr\$ 3,000～9,000</p> <p>分譲状況 満植</p> <p>地権取得 全戸取得済</p>
農業	<p>主作目 丁字，ハワイマモン，マラクジャ</p> <p>形態 丁字，ハワイマモン等の複合経営</p> <p>農機具普及状況 トラクター 0.9台，トラック 1.1台，動噴 0.8台， 耕耘機 0.7台，他</p> <p>営農支援機関</p> <p>営農指導 カカオ栽培計画実行委員会 (CEPLAC)</p> <p>金融機関 銀行 (ブラジル銀行)</p> <p>その他 当移住地は丁字 (チョウジ) 栽培の開発により山本喜善司賞 (ブラジルにおける農業功労賞) を授賞した余潮清氏とバイア州において胡椒栽培の先鞭をつけた倉谷虎夫氏の二人の篤農家があり，地域の農業をリードしている。また農家経済の安定を図るため熱帯果樹 (マモン等) の導入に意欲的である。 これらの作物は，今や近隣地域のブラジル人の間にも普及され，香辛香料作物生産地の中核となっている。</p>

地区略図



移住地略図

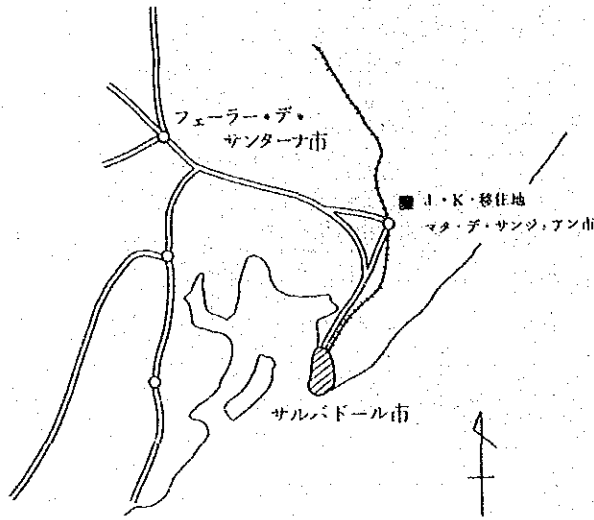


(7) クビチエック(JK)移住地

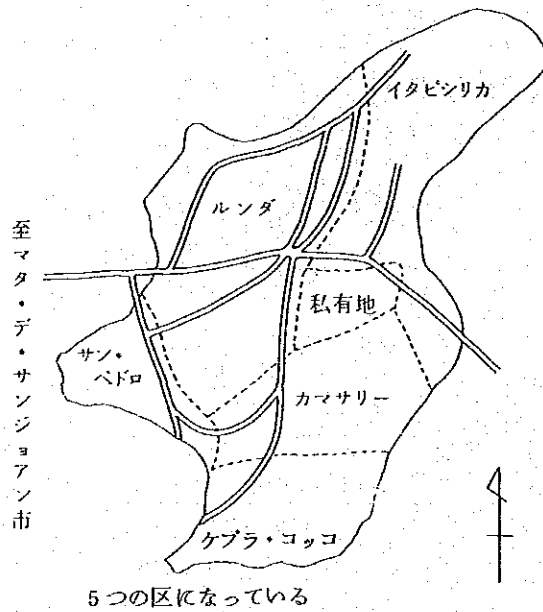
所在地	バイヤ州マタ・デ・サンジョアン郡ジュッセリーノ・クビチエック移住地 NUCLEO COLONIAL DE JUSCELINO KUBISTCHEK(J.K), MUNICIPIO DE MATA DE SÃO JOÃO, ESTADO DA BAHIA	
面積	4.900 ha	
経緯	サルバドール市およびフェーラー・デ・サンターナ市を中心とした地域への生鮮食糧の供給、州内農業者の定着を目的として、連邦及び州が共営で創設を計画した移住地であるが、他地域の日本人移住者の優秀な成績を知るに及んで、日本人の優秀な農業技術を公開し、バイア州の農業振興をはかるべく考慮し、日本人の導入を追加計画したものである。 日本人の入植は1958年に始まり、今日までに123世帯が入植したが、道路問題、経営不振等により多く転出した。問題の道路は1975年に整備された。現在49世帯が入植している。	
自然環境	地 形 地 質 ・ 土 壤 植 生 ・ 林 相 気 候	標高は90m～100m、緩やかな起伏のある丘陵地 第3紀砂岩母材、植壊土ないし砂壊土 林相は厚く、再生雑木林 最高平均気温28.3℃、最低平均気温22.2℃ 雨期3～8月、乾期9～2月、平均年間降雨量1800mm
社 会 環 境	主要都市への交通手段 市 場 地区内道路整備状況 電 気 飲 料 水 電 話 公 共 施 設 事業団援護 自治体農協等 そ の 他	移住地よりマタ・デ・サンジョアン市まで6km、マタ・デ・サンジョアン市～サルバドール市間は鉄道および道路が通じている。道路は舗装され、所要時間約2時間。 サルバドール市(人口150万人)が主な市場である。 砂利道路および盛土であるが、雨期は道路状況が極度に悪化する。なお、事業団より、1975年度道路工事費として2,442千円を補助した。 1979年7月に全域電化済(事業団補助2,053千円) 20m～30m掘削すると飲料水が得られるが、殆んどは河川水、湧水を利用している。 1987年当団助成により緊急電話架設(助成額1,669千円) 公民館(当団より8,325千円の助成) 事務所1、作業所1、診療所1、鶏肉処理場1、種鶏場、飼料配給設備機械一式 地区内に診療所兼病院がある。小学校は地区内4校、中学校はマタ・デ・サンジョアン、高校大学はサルバドール市にあり、学生寮に寄宿して通学している。

入 植 状 況	入植戸数と内地 人員	1958	1959	1960	1961	1962	1963	現 地 入植者
	戸数	5	49	25	30		1	3
主な出身県名：愛媛、長崎、福岡、青森、鹿児島、新潟、宮城								
入 植 世 帯 数	入 植 数		入 植 世 帯 数		農 家 戸 数			
	区 分		戸 数	人 数	戸 数			
	日 本 人	居 住	49	125	49			
		非居住	-	-	-			
計		49	125	49				
1988年4月1日現在								
分 譲 状 況	総 面 積	4,900 ha						
	ロ ッ テ 面 積	イタビシリカ地区25 ha, ルンダ地区20 ha						
分 譲 状 況	分譲条件及び価格	Cr\$400~500 2年据置 10年分割払						
	分譲状況	全ロット分譲済						
地 権 取 得	地 権 取 得	全戸取得済						
農 業	主 作 目	バラ, キク, キュウリ						
	農 機 具 普 及 状 況	トラクタ 1台, トラクター 0.7台, 動噴 1台, 給水管 260 (1986年度農家経済調査結果)						
業	家 畜 飼 養 頭 数	肉牛(成2.3頭・仔0.5頭), 豚(成1.1頭・仔6.3頭)						
	営 農 援 護 機 関	銀行, 南銀, 川銀, 伯銀						
業	主作物販売取扱機関	仲買業を営む移住者子弟が仲買し, サルバドールCEASAに出荷する。						
	そ の 他	一時蔬菜栽培, 特にトマトが中心であったため, 市場において入植者間の競合となり営農不振であったが, 近年では花卉栽培や果樹, 畜産を取り入れている。又, 椎茸栽培も研究中である。						

地区略図



移住地略図

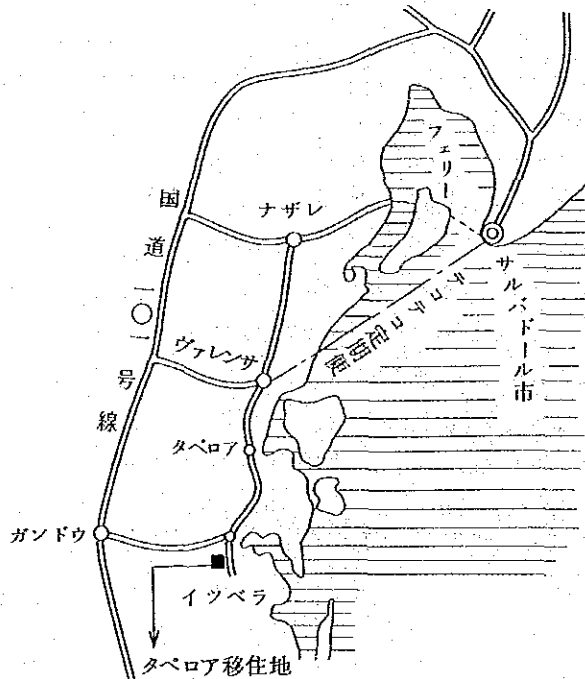


(8) タペロア移住地

所在地	バイア州タペロア郡 MUNICÍPIO DA TAPERUA, ESTADO DA BAHIA	
面積	1.500 ha	
経緯	<p>ベレン支部管内第1トメアスー移住地に入植していた一部農家が、同移住地に胡椒の病害が大発生したため、新しい胡椒栽培地を求めて各地を調査した結果、当移住地と同一自然条件下のイツペラ移住地で胡椒、丁字が立派に栽培されているのをみて、第1トメアスー移住者を中心とする転住者やレンソフェ近郊からの転住者によって形成された集団地である。</p> <p>当初胡椒を中心として営農を進めていたが、同地へトメアスーから搬入した胡椒の根腐病が大発生したため胡椒栽培に見切りをつけ、丁字、カカオ、グアラナ、ハワイマモンに転換し従来の胡椒単作営農から香料科作物と熱帯果樹を取り入れた複合営農を進めている。将来的には香料作物の一大生産地帯の形成が考えられるが、専門知識・技術が不足していること、販売ルートの未整備等から営農指導の必要性が増大している。</p> <p>現在入植者数は、第1トメアスー移住地からの入植者と他地域からの入植者を加えて、日本人日系人合せて61戸が入植している。(非居住者38戸)</p>	
自然環境	地質・土壌 植生・林相 気候	<p>形 海岸山脈標高40~180mにあり、流水に恵まれている。</p> <p>壤土、ラトゾールの大型粒状をもつ、土壌構造はきわめてよいが肥沃地でない。</p> <p>原生林、再生林あり、林相は相当厚く有用材も含まれている。</p> <p>イツペラ移住地と同様</p>
社会環境	主要都市への交通手段 市場 地区内道路整備状況 電気・飲料水 公共施設	<p>州都サルバドール市より国道101号線と州道545号分岐点迄250kmは完全舗装、州道545号によるバレンサ市(人口6.6万人)経由タペロア間24kmは未舗装であるが道路整備は良好である。サルバドール〜バレンサ間は1日3~4回のバス便あり。1日4便のエア・タクシーの便もある。</p> <p>バレンサ市、サルバドール市が主な市場である。</p> <p>砂利道および盛土である。1974年度、州道路局が道路舗装を実施したため、極めて良好。近い将来国道に直結する計画がある。</p> <p>昭和63年当団の助成(9,430千円)を受けて全戸電化済、飲料水は各戸井戸を掘り、水量は豊富である。</p> <p>公民館(当団助成3,221千円)一昭和57年竣工</p>

入と 植人 戸数 員	年 度	現 地 入 植 者
	戸 数	6 1
	人 員	1 7 6
<p>主な出身県名：宮城, 青森, 山形, 福岡, 大分, 北海道</p> <p style="text-align: right;">1991年4月1日現在</p>		
分 譲 状 況	総 面 積	1,500 ha
	ロ ッ テ 面 積	30~130 ha
	分譲条件および価格	平均3,000~4,000 Cr\$/ha
	分譲可能面積	個人取引による(タバロア移住地は集団化による任意移住地)
	地 権 取 得	全戸取得済
農 業	主 作 目	ガラナ, 丁字, ハワイマモン
	形 態	ガラナ, 丁字等香料作物を主体にハワイマモンを組み合わせた経営
	農機具普及状況	トラック 0.9台, 動噴 1台, 脱粒機 1台, 他
	家畜飼養頭数	
	営農援護期間	
	営農指導	カカオ栽培計画実行委員会(CEPLAC)
	金融機関	銀行(州銀, 伯銀)

地区略図



(9) その他主な移住地の概況

入植地名	州名	入植者数		農家 戸数	備 考
		戸数	人数		
チャンガ	セアラ	1	6	0	散在住集団, 野菜, 果樹 (註) 出稼で過疎化
ガビラーバ	ベルナンブコ	3	6	2	州計画移住地, 野菜, 果樹
南 バイア		189	725	125	散在住集団, コチア生産団地
テイシェイラデフレイクス	バイア	97	499	69	ハワイマモン 野菜 フェイジョン 牧畜
ジュエラーナ, カラベラス	"	18	50	13	" " " "
ポスト デ マッタ	"	34	95	24	" " " "
エウナボリス	"	22	81	19	" " " "
サンフランシスコ中流域		62	220	48	
クラサー	バイア	30	129	30	CODEVASF管轄(コチア産組委託管理) プロジェクト
マニソーバ	"	7	39	7	" メロン 果樹 マモン
サリトレ	"	12	43	12	" " " "
カザノーバ	"	7	35	7	散在 " " "
ジュアゼイロ, ベトロリーナ	バイア ベルナンブコ	50	161	13	散在住集団 " " "
					サンフランシスコ中流域における日系 農家の増加は爆発的で新情報によると 既に86戸(350名)を数える。
西 バイア					
バレイラス	バイア	250	1,200	240	サンパウロ・パラナ方面から, 主に, コ チア組合員を主体に入植しており, 大 型農業経営に取り組み今後も更に増加 の見込み。

II-1 レシーフエ支所

団 体 名 (日本語名, 但語名)	代表者名及び所属 団体名, 任期	連絡先(専用事務所取 事務所の別)及び電話	会員の資格	会員数	法人格取得の有無 及び取得年月日	延任理事使職員 の有無・内容・ 職人数等	機関紙の有無 名称並びに 発行部数	考 備
レシーフエ日本文化協会 ASSOCIAÇÃO CULTRAL JAPONESA DO RECIFE	岩田 國一 KUNICHI IWATA	RUA EPAMINONDAS CRISTOVÃO DE OLIVEIRA, 107 BONGI RECIFE, EST. PERNAMBUCO BRASIL CEP 50000 TEL: 227-1401	日本人及び 日系人	250	取得	職員数 1名 役員 9名 学生数 1		1. 事業団委託業務(教育・文化) 2. 奨学金貸付業務 3. 学生寮運営 4. 会員の親睦・相互扶助事業 5. 健康診断 6. 1972. 6. 23 設立
バイヤ日伯文化協会連合会 FEDERAÇÃO CULTRAL NIPO-BRASILEIRA DA BAHIA	前川 和久 KAZUHISA MAEKAWA	RUA CAMPINAS DE Nº104-E BROTAS SALVADOR BA. BRASIL. CEP 40000. TEL: (071) 244-9512	バイヤ州内 文協 日系人	6団体 440名	1983. 2. 20 取得	職員数 1名 役員 12名 学生数 1		1. 事業団委託業務(教育・文化) 2. 学生寮運営 3. 日語教育振興 4. 健康診断
サルバドール日伯文化協会 ASSOCIACAO CULTRAL NIPO-BRASILEIRA DE SALVADOR	竹下 ジョゼ栄 SAKAE JOSE TAKESHITA	RUA CAMPINAS DE Nº104-E BROTAS SALVADOR BA. BRASIL CEP40000. TEL: (071) 244-9512	日本人及び 日系人	134	1975. 5. 31 取得	役員 4名 会 員 1		1. 社会, 文化, 体育事業 2. 日伯文化交流 3. 会員相互間の親睦
南バイヤ日伯農事文化体育協会 ASSOCIACÃO CULTRAL ESPORTIVA E AGRICOLA DE SUL DA BAHIA	小野 正博 MASAHIRO ONO	AV. M. BRANCO Nº722 TEIXEIRA DE FREITAS CEP. 45990 EST. BAHIA BRASIL. TEL: (073) 291-1391	日本人及び 日系人	125	1978. 2. 16 取得	役員 9名 公民館		1. 社会, 文化, 体育事業 2. 日語教育普及 3. 農業研究 4. 会員相互の親睦
ウナ日伯文化協会 ASSOCIACAO CULTRAL NIPO-BRASILEIRA DA COLONIA UNA	西本 伍一 GOICHI NISHIMOTO	A/C. PIC-UNA MUNICIPIO UNA ESTADO DA BAHIA BRASIL 仮に会政宅	日本人及び 日系人	44	1978. 4. 4 取得	役員 7名 公民館 1		1. 日語教育 2. 体育, 文化交流事業 3. 会員の親睦

団体名 (日本語名、伯語名)	代表者名及び所属団体名、任期	連絡先(事務所、事務所、及び電話)	会員の資格	会員数	法人格取得の有無及び取得年月日	施設等従事者の有無・内容・職員数等	機関紙の有無・名称並びに発行部数	備考
イペラ移住文化協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPO-BRASILEIRA DO PROJETO INTEGRADO DE COLONIZAÇÃO DE ITUBERA	井戸川 颯 MAMORU IDOGAWA	CX. POSTAL Nº17 ITUBERA ESTADO DA BAHIA BRASIL TEL: (073) 256-2050 (会長宅)	日本人及び日系人 1人	29	1977. 7. 4 取得	役員 5名 日語教室 1		1. 日語教育 2. 農業研究普及事業 3. 会員相互の親睦
J. K 日伯文化協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPO-BRASILEIRA DA COLONIA J. K.	中原 正弘 MASAHIRO NAKAHARA	COLONIA J. K. MATA DE SÃO JOÃO ESTADO DA BAHIA BRASIL	日本人及び日系人	52	1974. 12. 22 取得	役員 6名 公民館 1		1. 日語教育 2. 移住地環境整備 3. 会員相互の親睦
タペロア日伯文化協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPO-BRASILEIRA DE TAPEROA	袴田 辰巳 TATSUMI MOCHIDA	RUA SAUL OLIVEIRA S/N TAPEROA ESTADO DA BAHIA BRASIL TEL: (071) 764-1066	日本人及び日系人	33	1982. 1. 14 取得	役員 9名 公民館 1		1. 日語教育 2. 会員相互の親睦
サンフランシスコ河中流域日伯文化協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL NIPO-BRASILEIRA DE MEDIO SÃO FRANCISCO	斉藤 伸一 SHINICHI SAITO	(事務所) RUA PACIFICO DA LIZ. 998 PETROLINA ESTADO DE PERNAMBUCO BRASIL TEL: (081) 961-0144	日本人及び日系人	86	1985. 6. 18 取得	役員 20名		1. 日語教育 2. 学生寮運営(行河準備) 3. 会員相互の親睦
パレイラス日伯文化協会	平田 幸三 KOZO HIRATA							

III サン・パウロ事務所

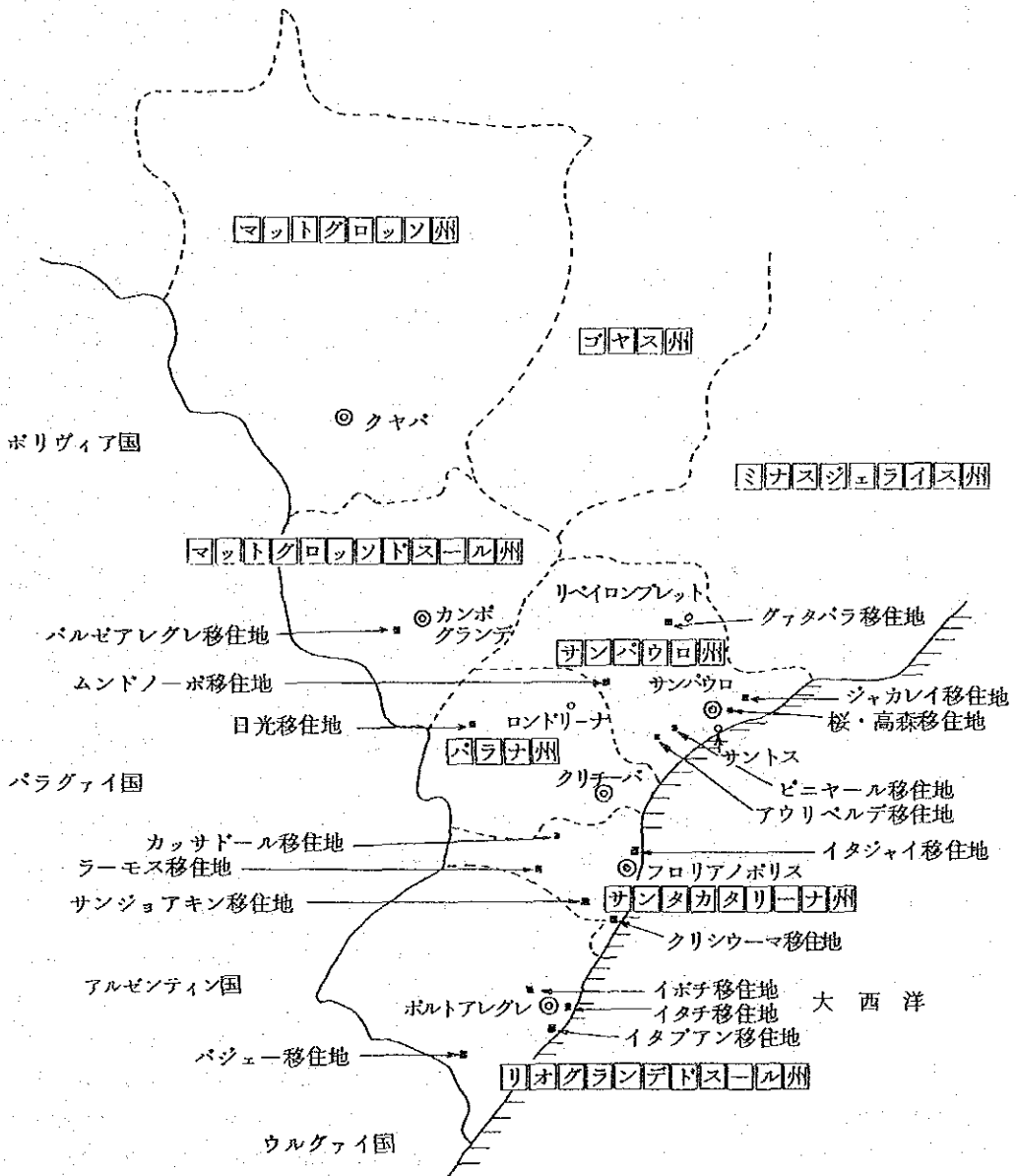
Ⅲ サンパウロ事務所

事務所機構

サンパウロ事務所 (サンパウロ市)

管轄州

サンパウロ州, パラナ州, マット・グロソ州, マット・グロソ・ド・スール州, リオ・グランデ・ド・スール州, サンタ・カタリーナ州, ミナス・ジェライス州の一部, ゴヤス州の一部



(2) マット・グロソ・ド・スール州の概要

州内移住地	<p>バルゼア・アレグレ</p>
概要	<p>面積 350,548 km², 人口 1,369,567 人, 人口密度 3.9 1人/km² (1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約178万人)。マット・グロソ・ド・スール州は1979年1月にマット・グロソ州より分離独立し、全土に占める割合は4.2%。 中西部地区に属し、北部はマット・グロソ州、東部はゴヤス及びミナス・ジェライス州のごく一部、南部はサンパウロ、パラナ州及びパラグアイ国、西部はポリヴィア、パラグアイ国と境界を接している。 地勢は州中央部にて標高約500mのマラカジュ山脈が分水嶺をなし、これにより西部はパラグアイ川、東部はパラナ川方面に緩傾斜している。 西部にはアマンバイ山脈がパラグアイ国境に接して南下している。西北部にはパラグアイ川及びその支流流域に標高100mのバンタナルと呼ばれる湿地帯が広がっており毎年雨期には氾濫する。 東西両側を流れるパラナ、パラグアイ川は航行の便があり、またパラナ川にはジュピアー、ウルブングアの2大発電所が設けられている。 気候は熱帯サバンナに属し、全体に高温多湿で州都のカンボ・グランデ(標高532m)における年平均気温は22.4℃最高月31.1℃(10月)最低月14.8℃(7月)年平均湿度71%である。3~8月が乾期、9~2月が雨期となっており特に12月に降雨が多い。年平均降雨量は1,827.1mmである。 パラグアイ川沿いのコロンバー(標高116m)で年平均25.1℃最高月(12月)27.4℃最低月(7月)21.4℃、平均湿度73%、パラナ川沿いのトレス・ラゴアス(標高313m)では年平均23.1℃、最高月25.8℃(12月)、最低月18.8℃(7月)、年平均湿度75%となっている。</p>
農業	<p>〔農業〕 西北部のバンタナル及び南部地方では牧畜が盛んで、'85年度生産高は第三位(全国比11.7%)である。その他南部地方では畑作が盛んで大豆、小麦、南京豆、棉花、トウモロコシ、マンジョカ等が主作物である。 〔工業〕 カンボ・グランデを中心に幾分の発展が見られる。主な工業生産物は鋼塊、セメント、石灰等である。 〔鉱業〕 コロンバ附近のウルクンに豊富な鉄鉱及びマンガン鉱があり、採掘が行なわれている。</p>

主要都市	カンボ・グランデ市 人口291,777人(1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約44万人); 標高532m マツト・グロッソ・ド・スール州の州都。同市の創立は1889年8月で、農産物の集散地であり近隣地方が発展するにつれて人口が増加し、1970年頃から急速な発展を遂げ、79年1月から州都となった。
------	--

(3) パラナ州の概要

州内移の住地	日光
概要	<p>面積199,554 km², 人口7,629,392人, 人口密度38.33人/km²(1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約917万人)。</p> <p>パラナ州はブラジルの南部地方に属し、北部はサンパウロ州、西部はパラグアイ及びマツト・グロッソ・ド・スール州、南部はサンタ・カタリーナ州に囲まれ東部は狭く大西洋に面している。</p> <p>地勢は南部をマール山脈、中部をゼラール山脈が縦断しパラナ川流域を除き、全体が500~1,000mの高原で部分的には1,000mを越える高地がある。</p> <p>クリチーバにおける標高は935m, ポンタ・グロッサ967m, アブカラーナ820m, グアラブアーバ1,098mで最高地はセーラ・ダ・カナビエイラの1,555mである。ゼラール山脈はエスベランサ, ピキリなど無数の小山脈に分かれている。河川のほとんどはラ・プラタ河系に属しパラナ河へ流れる。イグアス川には、有名なイグアスの滝がある。これらの河川は航行、発電に利用されている。東部は天然の良港でパラナグア港がある。</p> <p>パラナ州の地質は、二疊紀系及び三疊紀系の沈積岩石層と、海岸線の沖積層からなり、特に中西部に広がる三疊紀系の玄武岩台地は世界最大のものでこれからできた土壌テラ・ロッシュは肥沃で最も農業に適している。</p> <p>気候は北部地方を除き全体に温帯性で、ブラジルで最も適した地域と言われる。クリチーバにおける年間平均気温は16.2℃, 最高月(1月)平均20.1℃, 最低月(7月)11.9℃であるが、冬期に氷点下以下になることも珍しくない。南部のバルマスではこれより低く年間平均15.2℃で冬期には降雪、結氷のほかにはしばしば降雪をみる。北部地方の気温は南部より高いが同じく冬期にはしばしば降雪を見る。雨量はクリチーバで1,352mm, バルマスで1,904mm, 全体に1,500~2,000mmである。9月~3月が雨期で、平均して1月~2月が最も多い。4月~8月は乾期で6月~8月は最も少い。また、中南部高原にはアラウカリア(パラナ松)による独特の植物相がみられ、地方の風光に大きな特徴を与えている。</p>
要	

農 業	<p>〔農業〕</p> <p>パラナ州はブラジル最大の農業振興地帯で農産物の生産高はサンパウロ、ミナス・ジェライス州と並び3大州の地位を占めている。主な農産物は小麦(56.6%)、綿花(37%)、大豆(26.5%)、トウモロコシ(22.5%)、フェジョン(16.3%)、コーヒー(9.9%)等があげられる。(%)は88年産分)</p> <p>また牧畜業も最近盛んになりつつある。</p> <p>〔鉱業〕</p> <p>パラナ州には豊富な石灰、白雲石、燐石膏、大理石、滑石等を産出する。</p> <p>〔工業〕</p> <p>パラナ州の工業は近年急速な発展を見せている。政府はパラナ経済開発公社(CODEPAR)を設立し、工業の開発、促進に力を注いでおり、州内には製紙、紡績、機械、セメント、食品、皮革、製油などの大工場が次々と建設されている。中でも、モンテ・アレグレのクラビン製紙会社は南米最大の規模をもつ。</p>
主 要 都 市	<p>クリチーバ市</p> <p>人口1,024,975人(1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約139万人)、パラナ州の州都。東部高原に位置し標高935m、1693年に創設され、1854年首府となった。詩人エルメス・フォンテスにより微笑の町(Cidade Sorriso)と名付けられ優雅な雰囲気を持ち近代都市である。パラナ州の経済的発展に伴い急速に発展した。</p>

(4) サンタ・カタリーナ州、リオ・グランデ・ド・スール州の概要

州 移 内 住 主 要 地	<p>ラーモス、イタジャイ、カッサドール、クリシューマ、サン・ジョアキン、イボチ、イタチ、バジュー、イタブアン</p>
概 要	<p>サンタ・カタリーナ州：面積95,985 km²、人口3,627,933人、人口密度38.00人/km²(1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約440万人)、州都フロリアノ・ポリス市。</p> <p>リオ・グランデ・ド・スール州：面積282,184 km²、人口7,773,837人、人口密度29.06人/km²(1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約926万人)、州都ポルト・アレグレ市。</p> <p>人種構成は両州とも白人比率が他州に比べ高い(リオ・グランデ・ド・スール州87.2%、サンタ・カタリーナ州91.4% ブラジル平均54.2%)</p> <p>気候は亜熱帯から温帯に属し、年平均気温は15℃～20℃である。雨量は年間概ね1,200mmから1,800mmで夏乾冬湿で、ウルグァイ型である。</p>
産 業	<p>管内の主要産業は農牧畜で労働人口の45%が第1次産業に従事している。</p> <p>〔農業〕</p> <p>奥地は大面積による農牧畜(水稲、大豆、小麦、馬鈴薯等及び牛、羊等)、近郊は中小面積での集</p>

産	<p>約農業（ブドウ、桃等温帯果樹及び蔬菜類、花卉等）が多い。</p> <p>生産量から見れば、リオ・グランデ・ド・スール州の米はブラジルの32.9%を生産する。（1988年度）</p> <p>〔工業〕</p> <p>企業数においてはリオ・グランデ・ド・スール州はサンパウロ、リオ、ミナスに次いで4位、サンタ・カタリーナ州は7位を占めている。皮革工業、金属加工細工業、機械化学工業、繊維工業、食糧品加工業、ブドウ酒製造業等が盛んでヨーロッパ系移住者が母国の技術を移転し発展させた分野が多く多角的である。企業規模は零細企業が多く、従業員が100名未満のものが95%をしめている。</p> <p>〔鉱業〕</p> <p>石炭はサンタ・カタリーナ州がブラジル総生産額の78.3%を、リオ・グランデ・ド・スール州が20%強を産出している（1988年）。リオ・グランデ・ド・スール州では銅（ブラジルの54.9%以上87年度）、及び黄水晶、木化石等も産出している。</p>
主 要 都 市	<p>ポルト・アレグレ市</p> <p>人口1,125,477人（1980年国勢調査結果。1989年7月現在推定人口約137万人）、リオ・グランデ・ド・スール州の主都、パトス湖の北端グァイーバ河口の西岸（南緯30°01'53"）に位置する。</p> <p>1752年以降ポルトガル（系）人が大西洋上のポルトガル領アソレス島から移住、1824年以降は中央ヨーロッパ系（ドイツ人、イタリア人、ポーランド人、スペイン人）が移住してきており、人種のモザイク都市となっている。</p> <p>ポルト・アレグレは1724年に創設され、ポルト・ドス・カザイスと呼ばれていたが、1772年に町造りが始められ1773年に現在の市名ポルト・アレグレと改称され、1810年に政庁が置かれ州都に昇格している。</p> <p>ジャクイ河、シーノス河及びカイ河が合流し、グァイーバ河となって、更にパトス湖に連っているため、海運の便があること、外国人が移住してきたこと及び鉄道が敷設された等もあって工業化が促進され南部ブラジルの政治、経済、文化の中心となっている。</p> <p>気候は温帯的で年間平均気温は19℃と温暖であるが、標高が10mと低いうえに、パトス湖の影響をうけて夏は非常にむし暑い。</p>

2. 移住地の概要

(1) ジャカレイ移住地

所在地	サンパウロ州ジャカレイ郡 COLONIA JACAREI, MUNICIPIO DE JACAREI, ESTADO DE SÃO PAULO 州都サンパウロ市より67km
面積	613 ha
経緯	蔬菜、果樹、養鶏等を中心とした近郊農業を行う移住者の受入地として1959年に旧日本海外移住振興株式会社が取得・造成した移住地である。移住者の受入れは1960年からはじまり、現在32戸が入植定住している。
自然環境	地形 北部および南東部に40~130mの丘陵がある。この丘陵に挟まれた中央部は盆地でパラティ河が貫流している。標高530~570m 地質・土壌 丘陵地：花崗岩系、砂壤土および壤土 低地：沖積性埴壤土 植生・林相 丘陵地、果樹園、低地は蔬菜用地 気候 年平均気温 19.5℃ 年間降雨量 1,215.9mm 乾期4~9月 雨期10~3月 年により降霜あり
社会環境	主要都市への交通手段 移住地入口から各都市への道路は完全舗装で、バス便はひんばんにある。 ジャカレイ市 人口約 18万人、距離約 8km サンパウロ市 " 1,100万人、距離約 67km モジ・ダス・クルーゼス市 " 23万人、距離約 40km 市場 サンパウロ市、リオ・デ・ジャネイロ市及びサン・ジョゼ・ドス・カンポス市の青果市場等。 地区内道路整備状況 1981年度に事業団補助（総額11,408千円）により道路整備を行ない良好となった。 電気 1971年度事業団補助により電化（補助額5,635千円） 飲料水 素掘井戸で水質は良好である。 公共施設 事業団援護 公民館（1981年9月完成）（補助額9,758千円） ジャカレイ小学校（教師5名、生徒147名、内日系人20名） （1988年4月末現在）、教員宿舎（日語教師が利用） その他 中学、高校、病院等はジャカレイ市内の施設を利用している。

入植(内数と地)人員	年 度	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	
	戸 数	33	2					1				
	人 員	176	9					4				
	年 度	1970	1971	1972	1973	1974	現地入植					
	戸 数					1	32					
	人 員					6	165					

主な出身県名：長 野，熊 本，広 島，山 形

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
			戸 数	人 数	戸 数
	日 本 人	居 住	22	145	16
		非 居 住	3	23	0
		計	25	168	16
現 地 人		5	14	0	

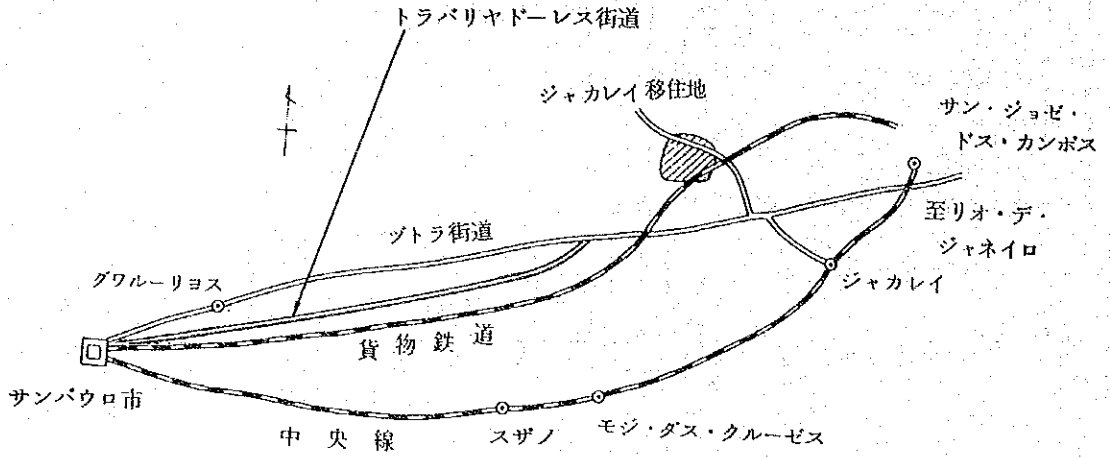
1991年4月1日現在

分譲状況	総面積	613 ha			
	ロッテ面積	5.9～8.2 ha (平均6 ha)			
	分譲条件及び価格	一括払864千円 分割払いは頭金10%以上4年据置5年均等払い。但し土地代金額について全期間年12%の利息を加算する。			
	分譲可能面積	559 ha (87ロッテ)			
分譲状況	分譲済面積		未分譲面積	道路市街地等利用地	旧農業移住センター
	559 ha		0	25 ha	29 ha
地権発給	87全ロッテ発給済				

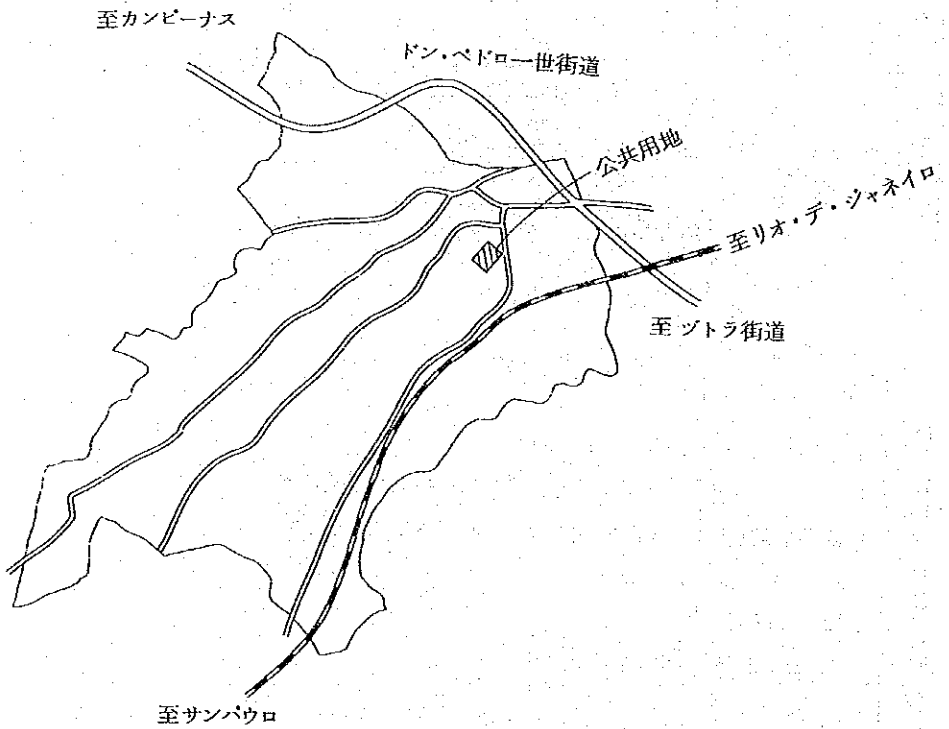
1988年4月末現在

農業	主 作 目	養鶏，花卉(バラ，キク，グラジオラス)野菜
	形 態	養鶏，花卉を主体とした都市近郊型農業
	農機具普及状況	トラクター0.6台，トラック0.5台，耕耘機0.6台
	家畜飼養頭数	豚8頭
	営農援護機関	
	営農指導	コチア産業組合
	金融機関	銀行，組合
主作物販売取扱機関	コチア産業組合	

地区略図



移住地略図



(2) グアタバラ移住地

所在地	サンパウロ州リベイロン・プレット郡 NUCLEO COLONIAL GUATAPARA, RIBEIRÃO PRETO, ESTADO DO SÃO PAULO	
面積	7,294 ha	
経緯	<p>当初、全国拓植農協連が山形、茨城、長野、岡山、山口、鳥根、佐賀の7県（各県拓連）から資金的協力を得、コチア産組と協約してグアタバラ耕地の一部を購入することとして、旧移住振興会社に代理取得を依頼した。その後、造成、分譲に関するすべての事業を移住振興会社が行うことになり、全拓連、コチア産組はそれぞれ日本国内と伯国内でのあっせんおよび指導、生産物の販売等で協力することとなった。移住は1961年から開始されたが、移住者は当初前記7県からあっせんされた。（後全国対象にあっせんが行なわれたが7県以外からの内地移住者はない）</p> <p>営農は低地を利用しての水田および蔬菜作と、丘地を利用しての柑橘、雑作栽培を予定したが、必ずしも順調に進展せず、現在では営農型態が変り養鶏、養蚕、果樹の導入がはかられ、これらの組み合わせで進められている。入植定住者は115戸である。</p>	
自然環境	地 形	約60%が大波形状丘地、40%がモジグワス河沿いの低地である。 標高510～581m
	地 質・土 壤	丘地は輝緑岩および砂岩の風化土壌より成る混合テラ・ロシヤ pH4～4.5
	植 生・林 相	丘地：小灌木林または草地 低地：河に沿って原生林密生
	気 候	年平均気温22.6℃ 平均最高気温31.8℃ 平均最低気温13.3℃ 年間雨量1,128mm 雨期10月～3月 乾期4月～9月
社会環境	主要都市への交通手段	<p>移住地～リベイロン・プレット市間 急行バス等頻繁 所要時間1時間</p> <p>リベイロン・プレット～サン・パウロ市間 急行バス等頻繁 所要時間5時間</p> <p>グアタバラ町～サンパウロ市間 鉄道 約7時間</p> <p>グアタバラ町 人口約 3万人 距離約 12km</p> <p>リベイロン・プレット市 " 42 " " 35km</p> <p>アララクアラ市 " 11 " " 35km</p> <p>サンカルロス市 " 16 " " 45km</p> <p>リオクラーロ市 " 14 " " 110km</p> <p>サンパウロ市 " 1,100 " " 285km</p>

市場	サンパウロ市, リベイロン・ブレット市, その他周辺の各都市 主として共同出荷であるが一部個人出荷および庭先販売
地区内道路整備状況	幹線道路が州道となり, アスファルト化され良好となった。その他, 丘地道路は事業団補助及び毎年の入植者負担により整備され良好である。 低地道路は基盤が泥炭層のため雨期には劣悪となる。
電気	1969年度事業団補助により電化完成。(補助額10,318千円) その後交換分合により移転した丘地の一部は未電化。
飲料水	主として自家用井戸(15m位)による。一部共同簡易水道。 公共施設用水は深井戸(120m位), 1970年度事業団補助により建設
公共施設	
事業団援護	グアタバラ小学校(教師4名, 生徒151名, 内日系人115名) 警察官派出所, 公民館(1982年3月完成)
組合等	コチア産組事務所, 販売所, 飼料配合所, 野球場 全拓連農場並びに各種建物施設
その他	歯科医は週に一回, リベイロン・ブレット市より往診している。 隣接農場(フェゼンダ・グアタバラ)には医師が常駐している。 中学以上の上級学校はリベイロン・ブレット市に通学。

入植(内 戸数と 人員)	年度	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969
	戸数	16	26	40	32	1				
	人員	83	136	210	146	5				
	年度	1970	1971	1972	現地入植					
	戸数			11	36					
	人員			48	176					

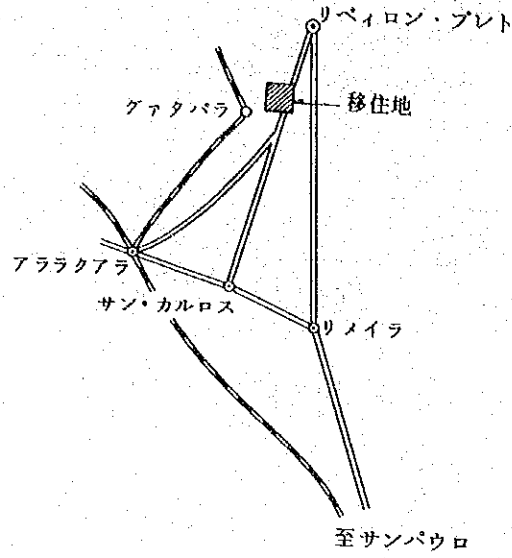
主な出身県名: 茨城, 山形, 長野, 鳥根, 岡山, 山口, 佐賀

入植世帯数	区分		入植数		入植世帯数	農家戸数
			戸数	人数	戸数	戸数
	日本人	居住	116	659	86	
		非居住	0	0	0	
		計	116	659	86	
	現地人	25	128	16		

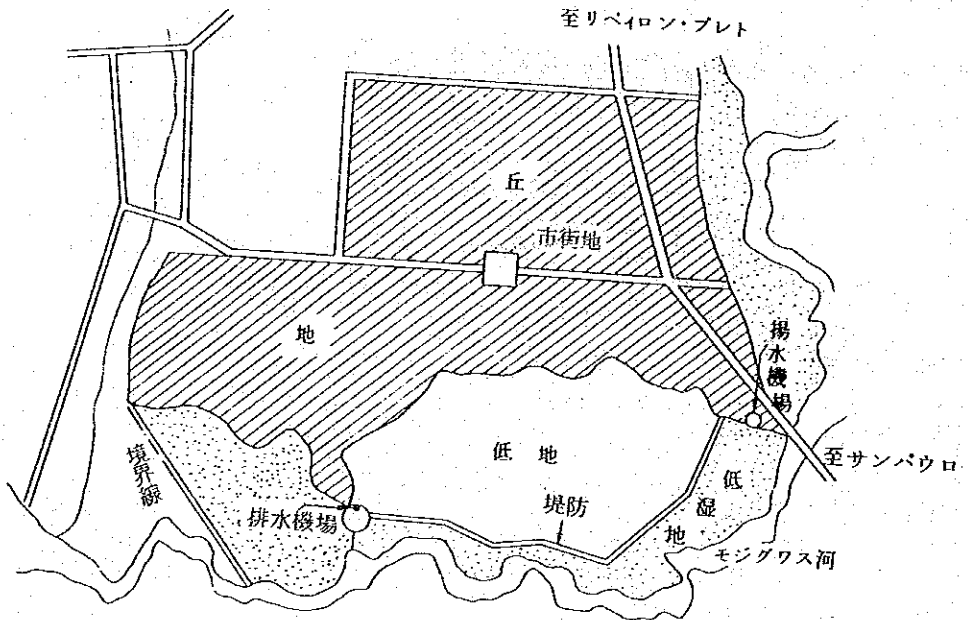
1990年4月1日現在

分譲状況	総面積	7,294 ha				
	ロッテ面積	低地3 ha 丘地2~6 ha				
分譲条件及び価格	一括払	90~1,122千円(丘地), 2.5~269.5千円(低地)				
	分割払	(頭金50%以上残額は丘地1年後払, 低地8カ月後払, 利息12% 市街地 一括払い384千円, 分割払(頭金50%据置なし, 1年後払 利息12%)				
分譲状況	6,768 ha (1,254 ロツテ, 全拓連分譲地750 ha 含)					
地権発給		<table border="1"> <tr> <th>分譲済面積</th> <th>道路市街地等利用地</th> </tr> <tr> <td>6,768 ha (1,254 ロツテ)</td> <td>526 ha</td> </tr> </table>	分譲済面積	道路市街地等利用地	6,768 ha (1,254 ロツテ)	526 ha
	分譲済面積	道路市街地等利用地				
6,768 ha (1,254 ロツテ)	526 ha					
		(1985年3月末現在)				
		(1988年3月末現在)				
農業	主作目	鶏卵, マユ, 水稻, 雑作(大豆)				
	形態	養鶏, 養蚕, 及び米作の専業及びこれらを組み合わせた営農				
	農機具普及状況	トラクター1.5台, トラック0.2台(1982年度農家経済調査結果)				
	家畜飼養頭数	豚(成5.8頭・仔3.3頭)(1982年度農家経済調査結果)				
	営農援護機関					
	営農指導	カンピーナス農業研究所, ビランカーバ農大等研究機関, 並びにコチア産業組合 ブラ拓製糸等				
	金融機関	銀行, 組合				
	主作物販売取扱機関	鶏卵: コチア産業組合 マユ: ブラ拓製糸 果樹: 各種加工場 米: 庭先販売及び個人出荷				
	その他	入植当初, 営農は低地を利用しての水田及び蔬菜作と丘地を利用しての柑橘, 雑作栽栽を予定したが, 必ずしも順調に進展せず, 現在は養鶏, 養蚕及び稲作のいわゆる三白農業を3本柱として進められている。				

地区略図



移住地略図



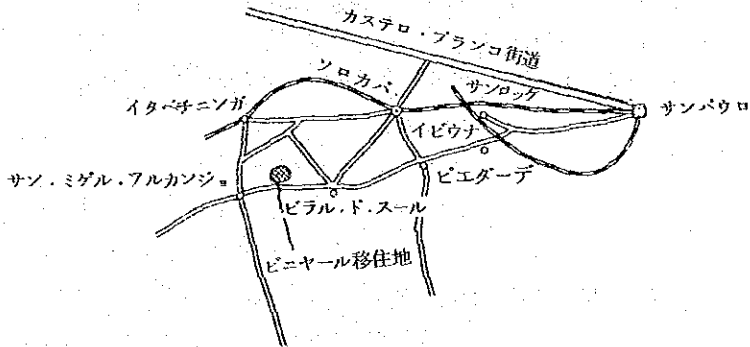
(3) ビニヤール移住地

所在地	サンパウロ州サン・ミゲル・アルカンジョ郡 FAZENDA DO PINHAL MUNICÍPIO DE SÃO MIGUEL ARCANJO, ESTADO DE SÃO PAULO
面積	755 ha
経緯	蔬菜、果樹、養鶏を中心とした近郊農業を行う移住者の受入地として、1962年旧日本海外移住振興株式会社が取得、造成した移住地である。この移住地の指導には事業団の依頼を受けて南伯産業組合中央会があたっている。現在の入植戸数は53戸である。
自然環境	地形 緩波状形、丘陵部はやや平坦、その他はゆるやかな傾斜(5~7°)。標高660~735m。 小川数本あり。 地質・土壌 頁岩を母材とする土壌で填壤土が主体。丘陵部にテラ・ロッシュ系の土壌が部分的にある。 植生・林相候 40%が再生林、20%が灌木林、40%が畑地および放牧地。 気候 年平均気温18.1℃ 平均最高気温26.9℃ 平均最低気温7.2℃ 年間雨量1,293mm 雨期12~4月 乾期5~11月
社会環境	主要都市への交通手段 移住地~各都市間 バス便頻繁 サンパウロ市より国道経由で1981年に、移住地入口付近を通るアスファルト道路が開通して、便利になった。 所要時間 車で2時間半、バスで4時間 サンパウロ市 人口約 1,100万人 距離約 163km イタベチニンガ市 " 12万人 60km ソロカバ市 " 36万人 100km ピエダーデ市 " 5万人 80km ピラル・ド・スール " 2万人 22km サン・ミゲル・アルカンジョ市 " 2万人 20km 市場 主としてサンパウロ市、その他近隣都市 地区内道路整備状況 全部土道であるが、1980年度事業団補助(総額7,925千円)により道路整備され良好となった。 電気 1970年度事業団補助により電化(補助額9,782千円)

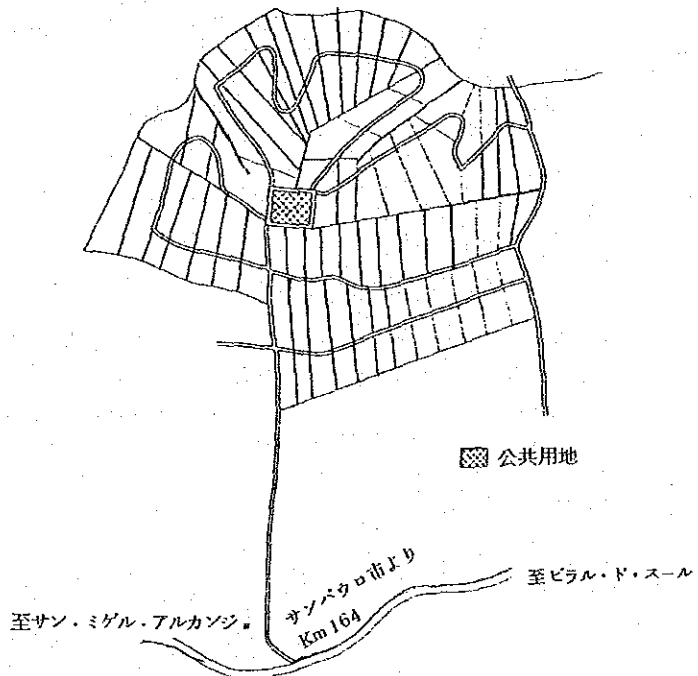
社 会 環 境	飲 料 水	各戸索掘井戸 公共用地飲料水は1974年度事業団補助により200mの深井戸掘削。 近年、営農規模の拡大と共に、飲料水が不足してきたので、1989年度にも深井戸(90m)(事業団補助153万円)を掘削した。									
	公 共 施 設 事 業 団 援 助 組 合 等 そ の 他	教員宿舍、倉庫、公共用地深井戸 南伯産組事務所並びに倉庫 ビニヤール小学校(教師4名、生徒78名、内日系人60名) (1988年3月末現在)、日語学校1校 中学校へはサン・ミゲール・アルカンジォ市へバス通学。									
入 植 状 況	入 植 戸 数 (内 地 人 員)	年 度	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	
		戸 数	3	7	4	3	1				
	人 員	14	31	23	11	3					
	年 度	現地入植者									
	戸 数	55									
	人 員	215									
主な出身県名：福 井, 富 山, 福 島, 千 葉											
入 植 世 帯 数	区 分		入植数	入植世帯数		農家戸数					
			戸 数	人 数	戸 数						
	日 本 人	居 住	41	237	41						
		非 居 住	5	23	5						
			計	46	260	46					
現 地 人		未調査	未調査	未調査							
1990年4月1日現在											
分 譲 状 況	総 面 積	756 ha									
	ロッテ面積	1ロッテ10.5~12.4 ha 平均12 ha									
	分譲条件及価格	一括払650千円 分割払いは頭金10%以上4年据置5年均等払い。但し土地代金額について全期間年12%の利息を加算する。									
	分譲可能面積	729 ha (60ロッテ)									
分 譲 状 況	分譲済面積	未分譲面積		道路市街地等利用地		除 地					
	729 ha	0		29 ha		0					

分譲状況	地権発給	全戸発給(60ロッテ)
		1988年3月末現在
農業	主作目	ブドウ, トマト, ニンジン
	形態	果樹(イタリアブドウ及び若干の柑橘, ピワ, リンゴ, ナシ, カキ) 専業農家が殆んどで, 一部トマト, ニンジン, フェジヨン等野菜との組み合わせによる農業
	農機具普及状況	トラクター0.7台, 耕耘機0.7台, トラック0.3台
	家畜飼養頭数	肉牛0.2頭, 乳牛0.2頭, 豚0.3頭, 役馬0.1頭
	営農援護機関	
	営農指導	南伯産業組合指導部
	金融機関	銀行
業	主作物販売取扱機関	南伯産業組合中央会 ビニヤール単協

地区略図



移住地略図



(4) ムンド・ノーボ移住地

所在地	サンパウロ州オウリーニョス郡 BAIRRO MUNDO NOVO, MUNICÍPIO DE OURINHOS, ESTADO DE SÃO PAULO				
面積	239 ha				
経緯	サンパウロ産業組合中央会傘下のオウリーニョス産業組合が、旧ムンド・ノーボ耕地を買収し、組合員となる日本人移住者を受け入れるために創設した移住地で、移住者は1961年および62年に日本から17世帯現地から7世帯が入植した。現在は17戸が定住している。				
自然環境	地形	緩傾斜波状地の高台及び緩傾斜の台地 標高420~450 m			
	地質・土壌	テラロシアに微細砂の混じった土、保水力に優れ極めて肥沃			
	植生・林相	一部に原始林地帯があったが大部分は既耕地			
	気候	年平均気温26℃ 平均最高気温34℃ 平均最低気温12℃ 年間雨量1200~1500mm			
社会環境	主要都市への交通手段	移住地~オウリーニョス市間 アスファルト道、自家用車等 オウリーニョス市~サンパウロ市間 完全舗装 バス頻繁 所要時間8時間 鉄道1日1便			
	市場	オウリーニョス市 人口約 7万人 距離約 7km サンパウロ市 " 1,100万人 " 394km			
	地区内道路整備状況	土道であるが良好			
	電気	電気あり			
	飲料水	各戸素掘井戸			
	公共施設	移住地内には医療施設なし オウリーニョス市に医療施設完備 移住地内に小学校1校 中学校、高校はオウリーニョス市学校			
入植(内戸数と地人員)	年 度	1961	1962	現地入植者	
	戸 数	8	8	9	
	人 員	43	41	43	

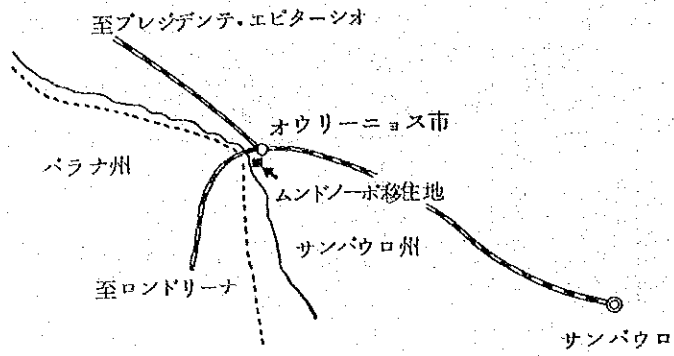
主な出身県名：愛 媛，北海道，長 崎

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
			戸 数	人 数	戸 数
日 本 人	居 住	11	59	11	
	非 居 住	2	9	2	
	計	13	68	13	
現 地 人	計	0	0	0	

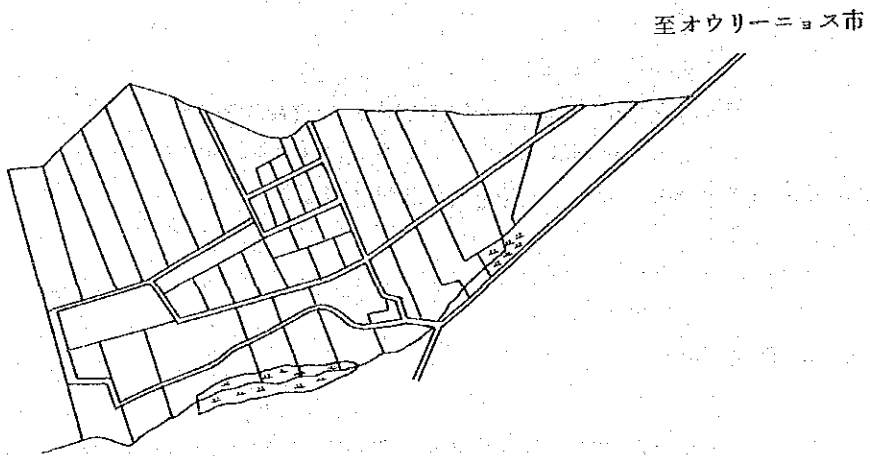
1990年4月1日現在

分譲状況	総面積	239 ha
	ロッテ面積	10 ha
地権取得	分譲条件及価格	一括払い 652 Cr \$ 分割払い 渡航前に391千円 2年目より毎年210千円相当伯貨を3年間に支払う。
	地権取得	全戸取得済 (1978年10月現在)
農業	主 作 目	鶏卵，大豆，とうもろこし
	形 態	鶏卵を主体に養蚕，果樹等を組み合わせた営農を行っている。
	農機具普及状況	トラクター1.3台，トラック0.8台(1979年度農家経済調査結果)
	家畜飼養頭数	豚0.7頭(1979年度農家経済調査結果)
業	営農支援機関	
	営農機関	サンパウロ産業組合中央会
	金融機関	銀行
	そ の 他	入植者は旧耕地から引継いだコーヒーを主体として営農を行っていたが，これがサビ病により打撃を受け，現在ではほとんど栽培されておらず，養鶏を主としてその他鐘紡，神戸生糸など製糸会社の進出により1973年頃より養蚕の導入を図り，その後，雑作(大豆等)に切り換って来ている。

地区略図



移住地略図



(5) 桜・高森移住地

所在地	サンパウロ州グアラレーマ郡 COLONIA CEREJEIRA, ESTRADA GUARAREMA KM6, BAIRRO GOIABAL, MUNICÍPIO DE GUARAREMA, ESTADO DE SÃO PAULO							
面積	200 ha							
経緯	日系コロニアの有力者故足立小平治氏が、1960年伯人耕主の土地の委任を受けて日本人移住者に分譲することとなった。当初同氏の出身県である岐阜県から受入れたが、後全国から受入れることとなった。入植者は日本直来と現地からあわせて現在66戸が定住している。							
自然環境	地形	緩い起伏の丘陵、小川、谷川、湧水等豊富。標高580~590m						
	地質・土壌	壤土						
	植生・林相	再生林を含む草原地帯						
	気候	年平均気温17℃ 年間降雨量1,500mm						
社会環境	主要都市への交通手段	近傍各都市へバス便が頻繁にある。 サンパウロ市 人口約1,100万人 距離約57km ジャカレー市 " 18万人 " 12km モジ・ダス・クルーゼス市 " 26万人 " 30km グワラレーマ市 " 2万人 " 6km						
	市場	サンパウロ市並びにリオ・デ・ジャネイロ市						
	地区内道路整備状況	良好						
	電気	自力で電化済み、一部事業団融資。						
	飲料水	井戸(但し、桜地区の極く一部に水のないロッテあり。)						
	公共施設	小学校、教員宿舎、日本人会館、倉庫、公民館(1980年12月完成)						
	事業団援護	日語学校						
	その他	中学・高校はグワラレーマ市もしくはジャカレー市に通学 移住地内に医療施設はなくグワラレーマ市を利用						
入植者(内数と人員)	年 度	1962	1963	1964	1965	1966	現地入植者	
	戸 数	39	0	4	3	1	98	
	人 員	171	0	19	11	3	469	

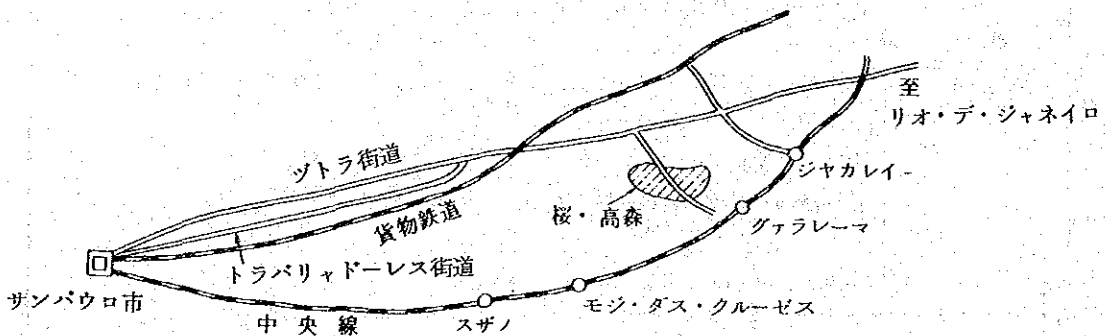
主な出身県名：岐阜，長野，広島，北海道

入植世帯数	区分	入植数		入植世帯数		農家戸数	
		戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数
日本人	居住	62	325	62	325	62	325
	非居住	5	25	5	25	2	10
	計	67	350	67	350	64	335
現地人		21	未調査			0	

1990年4月1日現在

分譲状況	総面積	200 ha
	ロッテ面積	1ロッテ約5 ha
地権取得	分譲条件及価格	一括払い ㊶ 52万円 ㊷ 28.8万円 分割払い 頭金残金は1年以内。
	取得済	取得済。 一部分割払未了の者が494号法律(1971年10月1日付法律5709号)の制限にかかり未取得である。
		(1978年10月現在)
農業	主作目	花卉(バラ，クラジオラス)
	営農状況	露地バラの栽培専業農家がほとんどで，一部柑橘との複合経営および養鶏を営む
	営農指導機関	協力機関としてコナア産組等。
	主作物販売取扱機関	花卉は主として個人。 野菜，鶏卵，鶏肉，果実は主として組合。

地区略図



(6) アウリベルデ移住地

所在地	サンパウロ州カッポン・ボニート郡 NUCLEO AURIVERDE, MUNICIPIO DE CAPÃO BONITO ESTADO DE SÃO PAULO	
面積	418 ha	
経緯	青年既移住者独立用及び本邦からの入植者を対象として、1977年に事業団が取得、造成した移住地である。入植者の受入れは1978年より始まり、現在13戸が入植定住している。	
自然環境	地形	南部が高く(標高750m)北部、西部に向かって約50mの標高差がある。地区内に3本の小川が流れており波状形地が3カ所にわかれてある。
	地質・土壌	粘板岩系を母岩とするLatsol Vermelho Escuro と呼ばれる赤色墳壤土
	植生・林相	20haの再生林の他は牧野、畑地である。
	気候	年平均気温 20.1℃ 年間降雨量 1,453.2mm 乾期 4~9月 雨期 10~3月
社会環境	主要都市への交通手段	移住地入口から各都市への道路は完全舗装 カッポン・ボニート市 人口約 6万人 距離約 6.5 km ソロカバ市 " 36万人 " 133 km サンパウロ市 " 1,100万人 " 245 km
	市場	カッポン・ボニート市、サンパウロ市等
	地区内道路整備状況	土道であるが良好
	電気	1981年度電化(事業団補助額7,568千円)
	飲料水	8~10mの素掘井戸で水質は良好である。
	公共施設	移住地内にはないがカッポン・ボニート市に病院がある。また同市に小学校、中学校、普通高校、商業高校、師範学校がある。
入植戸数と人員		現地入植者
	戸数	11
	人員	47

(1988年9月末現在)

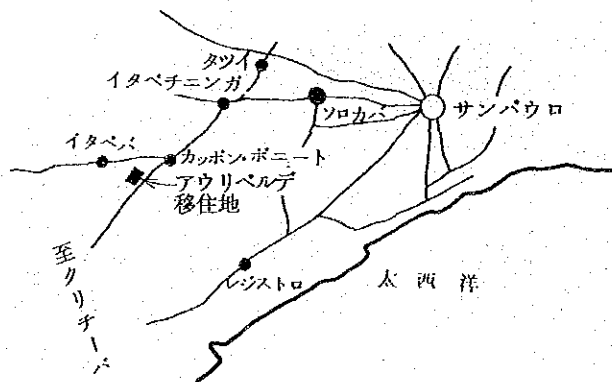
入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸数	人数	戸数
	日本人	居住	13	60	13
非居住		4	不明		
	計		17	60	15
	現地人		2	10	1

1991年4月1日現在

分譲状況	総面積	419 ha		
	ロッテ面積	15 ha		
	分譲条件及び価格	一括払い5,070千円。分割払いは頭金20%, 4年の据置, 5年分割払但し土地代金について全期間年12%の利息を加算する。		
	分譲可能面積	410 ha (27ロッテ)		
分譲状況		分譲済面積	未分譲面積	保留地 (道路市街地利用地等)
		410 ha (27ロッテ)	0	9 ha
地権発給	27ロッテ発給済			1985年3月末現在
				1985年3月末現在

農業	主作目	野菜, 果樹, 花卉
	営農援護機関	
	営農指導	コチア産業組合カッボン・ポニート倉庫の指導を時に受ける。
	金融機関	銀行, 組合

地区略図



(7) パルゼア・アレグレ移住地

所在地	南マット・グロッソ州テレーノス郡 FAZENDA VARZEA ALEGRE, MUNICIPIO DE TEREENOS, ESTADO DE MATO GROSSO DO SUL	
面積	3 6,4 7 2 ha	
経緯	1957年, 邦人自営農受入地として旧日本海外移住振興株式会社が, 購入造成した移住地である。入植は1958年から開始され山口県人が多い。 当初はバナナ及び米を中心にした営農に従事したが思わしくなく, その後養鶏を導入し柑橘, アバカシ(パイナップル)などの果樹と組み合わせての経営は順調であり, 又一部では牧畜も行なわれており, 現在55戸が入植定住している。	
自然環境	地 形	北部は平坦地, 南部は緩傾斜丘陵地 標高250~310 m
	地 質・土 壤	主に砂壤土, 砂質土, 若干のテラ・ロッサ, テラ・マサッペー地帯が斑点状に散在。
	植 生・林 相	いわゆるカンボセラード地帯である。原始林や再生林が散在するが有用材乏しく草生地帯も極めて少い。
	気 候	年平均気温24.7℃ 平均最高気温34.0℃ 平均最低気温10.0℃ 降雨量 1313mm 雨期10月~3月 乾期4月~9月 区別は明瞭
社会環境	主要都市への交通手段	鉄道はノロエステ線の駅が地区内に2カ所あり, カンボ・グランデ市まで約1時間テレーノス市まで約30分, 1日に2便ある。 カンボ・グランデ市からサンパウロ市間には, 鉄道, バス便, 航空機がある。
	市 場	カンボ・グランデ市 人口約 44万人 距離約 45km テレーノス町 " 1万人 " 20km クヤバ市 " 33万人 " 708km サンパウロ市 " 1,100万人 " 1,043km
	地区内道路整備状況	カンボ・グランデ市, クヤバ市 土道であるが良好 地区内に国道BR262号(アスファルト)が通っている(カンボ・グランデ~アキダウアナ~ポリビア国境)。
	電 気	1978年度電化(事業団補助17,707千円)

社 会 環 境	飲 料 水	入植者は素掘井戸。公共団地並に市街地の組合用地にある，学校，組合，日本人会事務所などは深井戸（事業団補助）を利用している。
	公 共 施 設	移住内に医療機関はないが，カンボ・グランデ市にカトリック教団経営慈善病院 私立病院がある。 バルゼア・アレグレ小学校（教師1名，生徒49名，内日系人42名） （1988年3月末現在）
	組 合 等	倉庫，飼料配合所，組合共同販売所
	そ の 他	公民館（事業団補助，1975年3月完成） 中学校以上の上級学校は，カンボ・グランデ市に寄宿

入 植 内 戸 数 と 人 員	年 度	1958	1959	1960	1961～ 1974
	戸 数	8	9	24	
	人 員	37	41	129	
	年 度	1975	現地入植		
	戸 数	1	50		
	人 員	2	254		

（1988年3月現在）

主な出身県名：山 口，広 島，島 根，大 阪

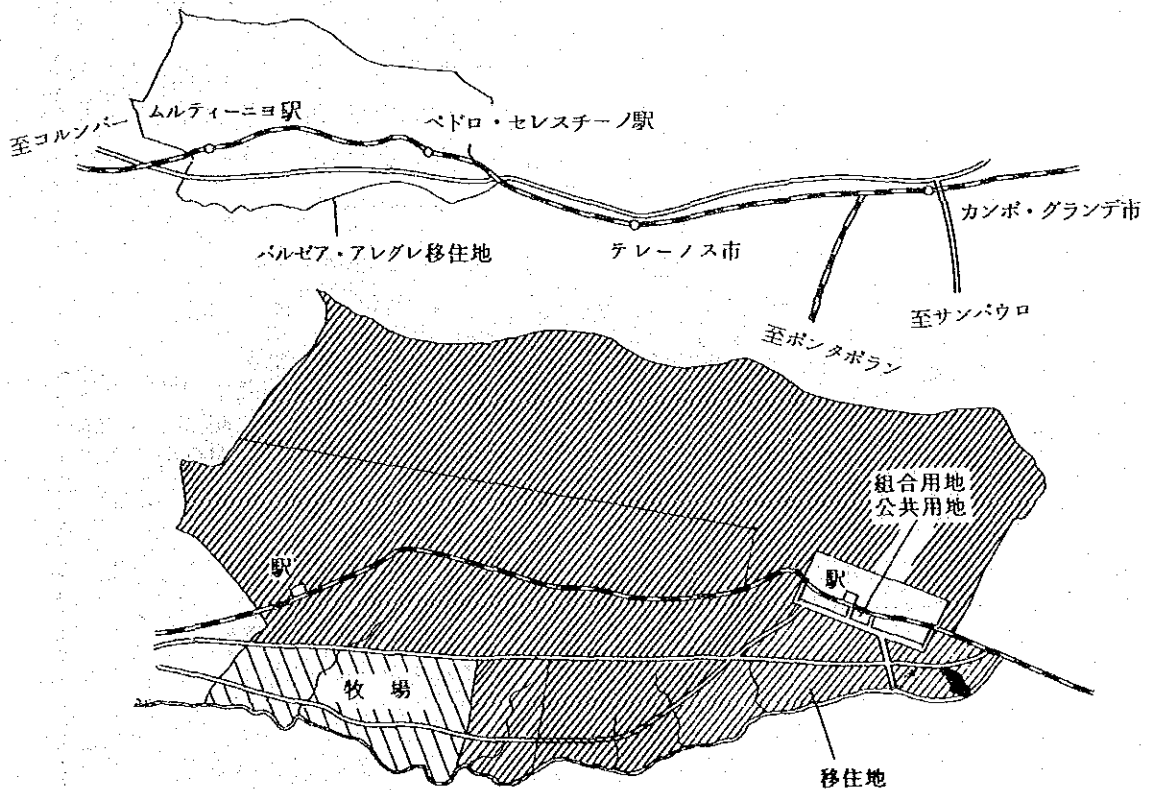
入 植 世 帯 数	区 分		入植数		農家戸数
			戸 数	人 数	戸 数
	日 本 人	居 住	50	272	48
		非 居 住	15	不明	15
	計		65	272	63
現 地 人		28	不明	28	

（1991年4月1日現在）

分 譲 状 況	総 面 積	37,495 ha			
	ロ ッ テ 面 積	25 ha（小型ロッテ） 300～1,500 ha（大口ロッテ）			
	分譲条件及価格	28,000～33,000円/ha 小型ロッテの分割払いは頭金10%以上4年据置5年均等払い，大口ロッテは頭金50%以上据置なし2年払い。但し土地代全額について，全期間年1.2%の利息を加算する。			
	分譲可能面積	34,245 ha（218ロッテ）			
分 譲 状 況	分譲済面積	未分譲面積	道路市街地利用地等	牧 場 地	
	34,245 ha （218ロッテ）	0	662 ha	2,588 ha	

分議状況	地権発給	全ロット発給済
		1988年3月末現在
農	主 作 目	鶏卵, 柑橘, 雑作及び牧畜
	形 態	養鶏専業農家が殆んどで一部果樹, 蔬菜を組み合わせた営農を行っている。
	農機具普及状況	トラクター0.9台 トラック0.5台 動噴0.6台 その他 (1983年度農家経済調査結果)
	家畜飼養頭数	肉牛(成13.6頭・仔2.0頭)(1983年度農家経済調査結果)
	営農援護機関	
	営農指導	事業団 農協 IPEAO(西部農牧調査実験研究所)
業	金融機関	銀行
	主作物販売取扱機関	鶏卵は, パルゼア・アレグレ産業組合, 果樹については商人或は個人が直接カンボ・グランデ市にて販売している。
	その他	パルゼア産組はサンパウロ産組中央会に加盟しており同会の養鶏技師によって時時技術指導が行なわれている。

移住地略図

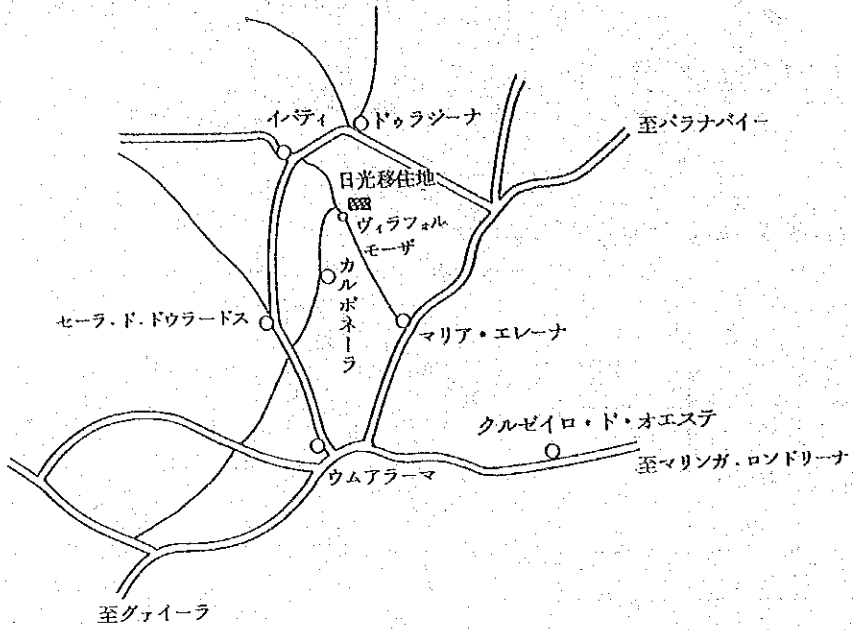


(8) 日光移住地

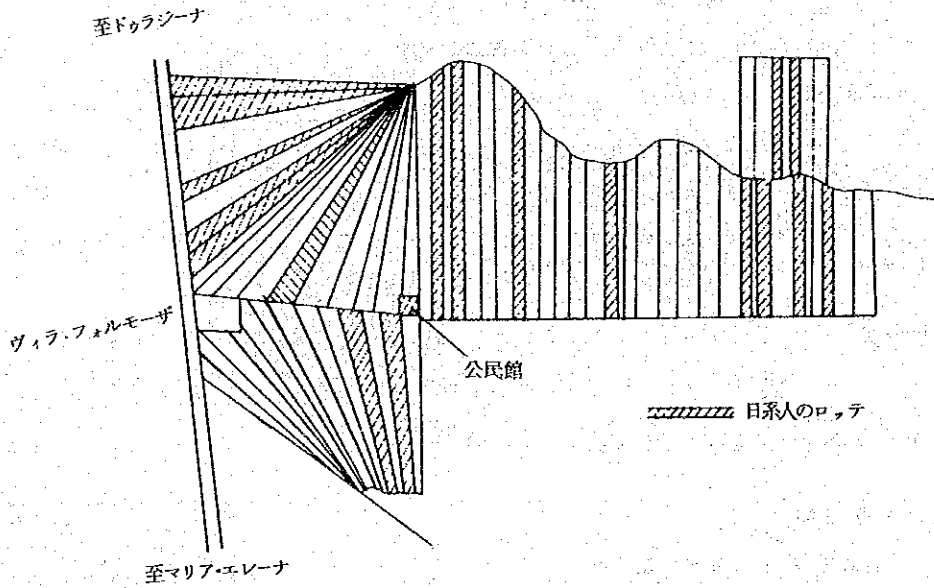
所在地	パラナ州ドゥラジーナ郡 COLONIA NIKKO, MUNICIPIO DE DOURADINA, ESTADO DE PARANA																										
面積	904.9 ha																										
経緯	戦後の雇用移住者が、協同して事業団から土地購入資金の融資を受けて、集団的に独立した地区である。経営の主体はコーヒーであるが、最近では果樹に力を入れている。現在の入植定住は24戸である。																										
自然環境	地形 地質・土壌 植生・林相 気候	緩やかな起伏のある波状地、地区内に小川が2～3本ある。標高約470m テーラロンヤミスタ砂壤土。pH6.5 原生林(灌木、喬木が密性) 年平均気温 24℃ 平均最高気温 33℃ 平均最低気温 17℃ 年間降雨量 1,200mm内外																									
社会環境	主要都市への交通手段 地区内道路整備状況 電気 飲料水 公共施設 事業団援護 その他	移住地から次の近隣都市へのバスが1日に1～4便運行されている。 <table border="1"> <tr> <td>ドゥラジーナ</td> <td>人口約</td> <td>1万人</td> <td>距離約</td> <td>12km</td> </tr> <tr> <td>マリア・エレーナ市</td> <td>"</td> <td>1万人</td> <td>"</td> <td>25km</td> </tr> <tr> <td>ウムアラーマ市</td> <td>"</td> <td>10万人</td> <td>"</td> <td>40km</td> </tr> <tr> <td>パラナバイ市</td> <td>"</td> <td>9万人</td> <td>"</td> <td>130km</td> </tr> <tr> <td>ロンドリーナ市</td> <td>"</td> <td>38万人</td> <td>"</td> <td>350km</td> </tr> </table> 土道 1976年度事業団補助により電化(補助額4,996千円) 各戸井戸水利用, 水質良好 日光移住地内に公民館(1975年3月完成), ウムアラーマ地区に学生寮(90年度予算にて建設中。補助額4,300千円)。地区内に医療施設はないがウムアラーマ市に病院がある。小・中学校は、ピラ・フォルモーザに通学。夜間高校がドゥラジーナ市にあり、スクールバスで通学する。ウムアラーマ市に寄宿している中・高校生もいる。	ドゥラジーナ	人口約	1万人	距離約	12km	マリア・エレーナ市	"	1万人	"	25km	ウムアラーマ市	"	10万人	"	40km	パラナバイ市	"	9万人	"	130km	ロンドリーナ市	"	38万人	"	350km
ドゥラジーナ	人口約	1万人	距離約	12km																							
マリア・エレーナ市	"	1万人	"	25km																							
ウムアラーマ市	"	10万人	"	40km																							
パラナバイ市	"	9万人	"	130km																							
ロンドリーナ市	"	38万人	"	350km																							

入植戸数と人員 (内地)	年 度	現地入植者			
	戸 数	62			
	人 員	319			
主な出身県名：高知 愛媛 鹿児島					
入植世帯数	人植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸 数	人 数	戸 数
	日本人	居 住	21	133	21
		非居住	3	17	3
		計	24	150	24
現 地 人		11	77	9	
1990年4月1日現在					
分譲状況	総面積	904.9 ha			
	ロッテ面積	1 ロッテ約12.10 ha (56 ロッテ)			
	分譲条件及価格	契約の当事者並びに入植者団体と地主との契約 土地代は ha45~75 cr\$ 4年分割 (但し入植当時の価格で現在は満植)			
	地権取得	全戸取得済 (1978年10月現在)			
農 業	主 作 目	コーヒー, ブドウ, マユ			
	形 態	コーヒーを主体にフェジョン, 大豆, 落花生等雑作を組み合わせた営農, ブドウ, 養蚕も経営に取り入れる農家がある。			
	農機具普及状況	トラック14台 トラクター11台 動噴6台 乗用車13台 その他 (1988年7月調査)			
	家畜飼養頭数	肉牛(成97頭), 豚(成172頭)			
	営農援護機関 営農指導	南伯産業組合中央会			
	金融機関 主作物販売 取扱機関	銀行 南伯産組			

地区略図



移住地略図



(9) ラーモス移住地

所在地	<p>サンタ・カタリーナ州, クリチバーノス郡フレイ・ロジェリオ地区</p> <p>DISTRIO DE FREI ROGERIO, CURITIBANOS ESTADO DE SANTA CATARINA (NUCLEO COLONIAL "GOVERNADOR CELSO RAMOS")</p>	
面積	1,137ha (50ロッテ)	
経緯	<p>サンタ・カタリーナ州中, 山部地帯の農業振興のため, 同地域に適する温帯果樹及びその他の農作物並びに小家畜の飼育に専門の技術を有する日本人を導入することを目的として, 州と事業団が協定に基づいて創設した州直営の混成移住地である。(日本人入植率70%, 現地伯国人率30%)</p> <p>日本人の入植は, 1964年及び翌65年に現地から16世帯, 日本からは1967年以降今日まで3世帯が入植しているが, その後雇用青年の受入と独立, 他地域からの移住地或いはその隣接地への入植もあり, ラーモス地区在住の日本人数は52戸となっている。</p>	
自然環境	地 形	傾斜4~7°の丘陵地帯で, 地区内に細流多数。(クリチバーノスで標高987m)
	地 質・土 壤	母岩が玄武岩の壤土, 埴壤土, 砂壤土, pH5~5.8
	植 生・林 相	未利用地は大部分再生林化し, 灌木, 雑草が繁茂している。現在殆んど自然原生林は残っていない。
	気 候	年平均気温 15~16℃ 平均最高気温 24.5℃ 平均最低気温 9.1℃ 年間降雨量 1,400~1,600mm
社 会 環 境	主要都市への交通手段	移住地~クリチバーノス市間は砂利道。定期バス1日3往復のほか, 入植者自家用車等がひんばんに通っている。所用時間30分。 クリチバ市~クリチバーノス市~ラージェス市~ポルト・アレグレ市間完全舗装。
	市 場	クリチバーノス市 人口約 4万人 距離約 23km クリチバ市 " 139万人 " 420km ラージェス市 " 15万人 " 110km ポルト・アレグレ市 " 137万人 " 490km
	地区内道路整備状況	モモ, リンゴ等果樹は, 主にサンパウロ市へ直接共同出荷。花卉類は主にポルト・アレグレ市場, その他一部はサンパウロ, クリチバ及び近傍都市
	電 気	起伏多く, ひんばんな維持補修を要するが, 市が政府の援助を受けて実施している。雨天通行にはやや困難な部分がある。 電化は1977年度に完了(事業団補助1,159千円)

社会環境	飲料水	茶掘井戸(7~8m)水質良好, 水量は豊富である。
	公共施設 事業団援護 その他	ラーモス小学校(教師3名, 生徒65名内, 日系人15名), 教員宿舎2棟, 公民館1棟(1981年8月完成)。地区内に医療機関はないがクリチバーノス市(人口4万人)に総合病院がある(フレイ・ロジェリオ病院)中学校, 高等学校はクリチバーノス市, クリチバ市, ラージュス市, ボルトアレグレ市に通学あるいは寄宿。

入植(戸内数と地人員)	年度	1969	1970	1971	1972	1973
	戸数	3	2	5		1
	人員	19	8	16		4
	年度	現地入植者				
	戸数	60				
	人員	-				

主な出身県名: 北海道, 長崎, 山口, 沖縄

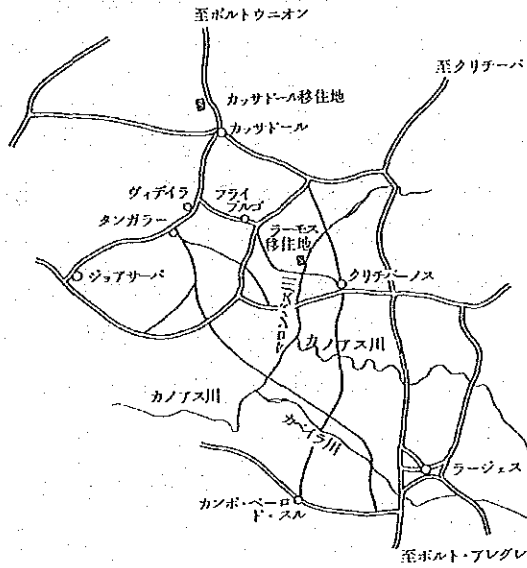
入植世帯数	入植数 区分		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
	日本人	居住	22	110	22
		非居住	7	29	4
		計	29	139	26
現地人		3	不明	3	

1991年4月1日現在

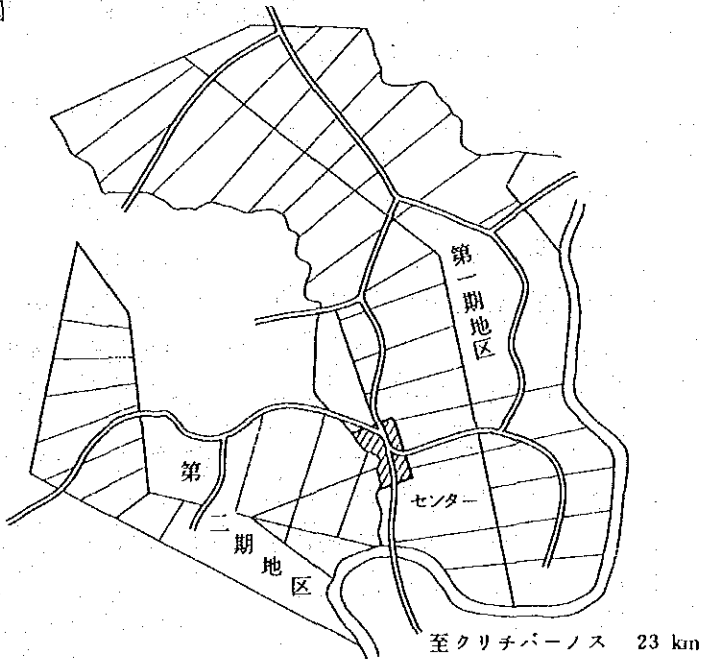
分譲状況	総面積	1,137ha(50ロッテ)			
	ロッテ面積	1ロッテ平均25ha(12haのロッテも7ロッテある)			
	分譲条件及価格	土地代(含住宅資材代) Cr \$1,997 3年据置 10年分割払い(無利子) 1969年9月以降 土地代 Cr \$1,000 3年据置 5年分割払い(無利子)住宅資材は購入原価を8年後5年分割払い。			
分譲状況	分譲済面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除地	
		1,114.5ha	-	22.5ha	-
地権取得	全員地権取得済。				
農業形態	主作目	ニンニク, トマト, ピーマン等の果菜類。カーネーション, キク及びリンゴ等の温帯果樹, 及び野菜の種子			
	形態	花卉生産(カーネーション, 菊)グループ, 輸送果菜生産(トマト, 入菘ビート等)グループ, ニンニク生産グループ及び, リンゴ生産グループとそれぞれ専門分化している。			

農 業	農機具普及状況	トラクター1.1台, トラック0.9台, 耕耘機0.9台 (1986年度農家経済調査結果)
	家畜飼養頭数	肉牛(成2.0頭・仔1.6頭), 豚(成0.5頭・仔0.8頭) (1986年度農家経済調査結果)
	営農援護機関 営農指導	州農業改良普及事務所, 国立試験場が近傍にある(ビデイラ市60km), コチア産組, 南伯産組
	金融機関	銀行
	主作物販売 取扱機関	大部分の生産物はコチア・南伯両農協を通じ, サンパウロ市へ共同出荷している。

地区略図



移住地略図



00 イタジャイ移住地

所在地	サンタ・カタリーナ州イタジャイ郡 NUCLEO COLONIAL "RIO NOVO" ITAJAÍ, ESTADO DE SANTA CATARINA	
面積	60ha	
経緯	<p>1969年、ラーモス移住地ネクタリン祭の席上、IRASC総裁、州農務長官、当時のブラジル農業開発院(INDA)駐在官等より、近い将来沿岸地帯に日本人を主とする蔬菜園芸移住地を設定することについて、是非検討して欲しい旨要望があった。</p> <p>その後1971年5月に至って、IRASCより正式にイタジャイ地区についての現地調査依頼があった。</p> <p>従来、イタジャイを始めとする近傍主要都市における蔬菜生産には殆んどみるべきものがなく、果菜類の90%はサンパウロ、パラナ州方面からの移入品に頼ってきたが、鮮度が著しく落ちる上に高価であり、市民の食生活は極めて低調であった。</p> <p>そこで、日本人を中心とする蔬菜園芸移住地を設定して、生産物を新設予定の市中央市場に直結させ、近傍主要都市の生鮮蔬菜類の供給を確立せしめるとの具体的構想を持つに至った。</p> <p>市は土地の購入ロッテ造成、電気導入、住宅建設等を、IRASCは住宅建設費用の負担、州農業改良普及院(ACARESC)は営農相談、融資あっせん、事業団は日本人入植者の選考をそれぞれ担当し、1972年に日伯混成入植を開始したものである。現在の入植定住者は7戸である。</p>	
自然環境	地 形 地 質・土 壤 植 生・林 相 気 候	沿岸平担低湿地 標高18m 表層部は、100~150cmの老朽有機物堆積、その下は水成岩を母岩とする砂質土と泥炭質粘土の混合土壌 広葉樹の中に有用堅木が混生する原生林で、60%程度は熟畑化している。 多雨温暖性気候 1971年の観測結果 年平均最高気温 27.66℃年平均最低気温 16.48℃ 年平均相対湿度 76.52% 年平均降雨日数145日で降霜は年数回 降雨量は1,589.8mmである。
社会環境	主要都市への 交通手段	移住地~イタジャイ市間はBR101号線南下3km, 車で10分程度, BR101号線をひんぱんに通るバス便を利用。 BR101号線はフロリアノ・ポリス市, ホルト・アレグレ市およびクリチバ市, サンパウロ方面に通じている。 ジョインビレ市 人口約34万人 距離約80km イタジャイ市 " 12万人 " 3km

社 会 環 境	市場	カンボリウ市 人口約 2万人 5km
	地区内道路状況	フロリアノ・ボリス市 # 24万人 85km
	電	ブルメナウ市 # 21万人 35km
	気	ブルスケ市 # 5万人 30km
	飲料水	イタジャイ市
		リオ・ノーボ川沿いに幅員8mの公共道路が貫通している。
		電気は創設に当り導入されている。
		飲料水用水道はイタジャイ市から延長利用している。

入 植 人 員 数 (内 地)	区分	入植者	現地入植者
	戸数		7
	人員		26

主な出身県名：北海道 熊本 高知 茨城

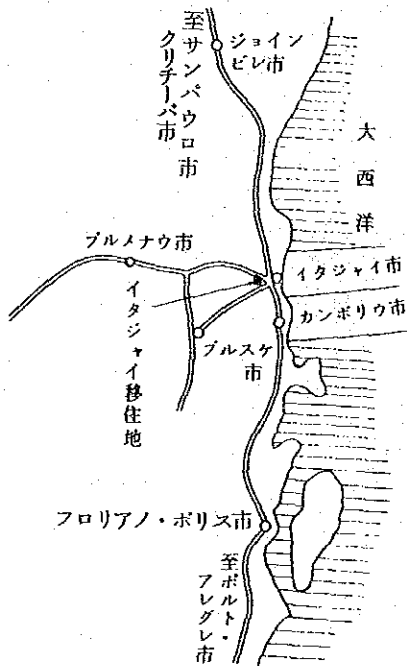
入 植 世 帯 数	入植数 区分		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
	日本人	居住	6	21	5
		非居住	0	0	0
		計	6	21	5
	現地人	5	23	5	

1990年4月1日現在

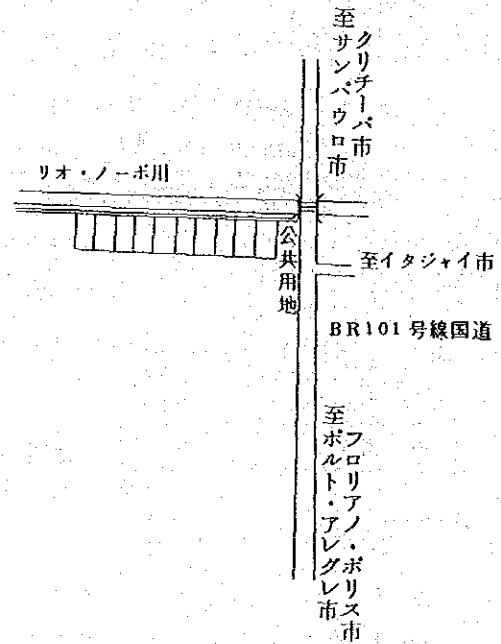
分 譲 状 況	総面積	60ha			
	ロッテ面積	1ロッテ6ha×10ロッテ			
	分譲条件及価格	1ロッテ価格, 土地代, 家屋建築費・造成費の合計 Cr\$ 25,000			
		2年据置 10年払い			
	分譲可能面積	60ha			
	分譲状況	分譲面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除地
		60ha	—	—	—
	地権取得	全戸取得済			

農	主 作 目	キク, トマト, チンヤ等各種の花卉, 蔬菜類で, 目立った中心作物は設定されていない。
	形 態	キク, バラ, グラジオラス等の花卉。トマト, チンヤ, カリフラワー等の蔬菜を組み合わせた営農。
業	営農支援機関	
	営農指導	サンタ・カタリーナ州農業改良普及事務所 (ACARESC)
	金融機関	銀行
	主作物販売取扱機関	個人出荷 (朝市又は個人商店卸)

地区略図



移住地略図



(II) カッサドール移住地

所在地	サンタカタリーナ州カッサドール郡パイオール・ペーリャ地区 NUCLEO COLONIAL "GOVERNADOR COLOMBO MACHADO SALLES" MUNICÍPIO DE CAÇADOR, ESTADO DE SANTA CATARINA	
面積	275 ha	
経緯	ラーモス移住地における日本人農家の果樹栽培状況を視察したカッサドール市長は、その成果に鑑み同郡内にも日本人を中心とする小入植地を創立すべく、その可能性について検討を行い適地を物色した結果、農地改革に協力的な地主の所有地に決定し、市がこれを買上げ IRASC の協力のもとに移住地を設定した。一方日本人入植者の選考に当っては、在リオ・グランデ・ド・スール州、サン・パウロ州の希望者の中から、事業団がカッサドール郡 IRASC と協議の結果 10 家族を選定し、第 1 陣として 9 家族、翌 1974 年 3 月 1 日合計 10 家族が入植した。また近年、近傍地区への入植農家が漸増している。	
自然環境	地形	概ね波状型、パラナ松よりなる森林にはかなり強度の傾斜が見られるが、全体的に見れば低地の一部である。標高 1,000 ~ 1,100 m
	地質・土壌	玄武岩を母岩とする砂壤土、有機質が比較的豊富、特に森林部には粗大有機質が堆積している。 pH 4.5 ~ 5.5
	植生・林相	雑木原生林（若干の有用木混生）と再生林および牧草地 大部分広葉樹、針葉樹はパラナ松の外 2 ~ 3 種で極く一部、森林は粗で、現在森林はほとんど残っていない。
	気候	年平均気温 16.8℃ 年平均気温 22.4℃ 平均最低気温 10.9℃ 平均年間降雨量 1,576 mm 降雨日数 120 日
社会環境	主要都市への交通手段	移住地～カッサドール市間は簡易舗装州道 カッサドール市から BR116 号線まで 6.5 km は完全舗装。 BR116 号線は、ボルト・アルグレ市およびサンパウロ市、クリチーバ市に通じている。
		カッサドール市 人口約 5 万人 距離約 11 km ボルトウニオン市 " 3 万人 95 km クリチバーノス市 " 4 万人 108 km クリチーバ市 " 139 万人 356 km

社 会 環 境	市場	果樹の大部分とニンニク，トマトはサンパウロ市，及びリオ・デ・ジャネイロ市に出荷，その他は地元市場
	地区内道路整備状況	幅員6mの幹線道路
	飲料水	飲料水はロッテ毎に掘抜井戸施設あり
	電気	電気は1980年度末に州，郡の協力により完全電化
	公共施設	移住地内には，医療，教育等の公共施設はないが，カッサドールにあるものを利用してゐる。事業団援護による大型トラクター1台（附属機一式を含む） 公民館（1986年3月事業団助成）

入 入 植 戸 数 と 員 （ 内 地 ）	区分	入植数	現地入植者
	戸数	18	
		人員	

主な出身県名：福岡・茨城・青森・熊本・大分・静岡・東京・長野・長崎・北海道

入 植 世 帯 数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸数	人数	戸数
	日本人	居住	18	83	18
		非居住	2	8	2
		計	20	91	20
現地人		未調査	未調査	未調査	

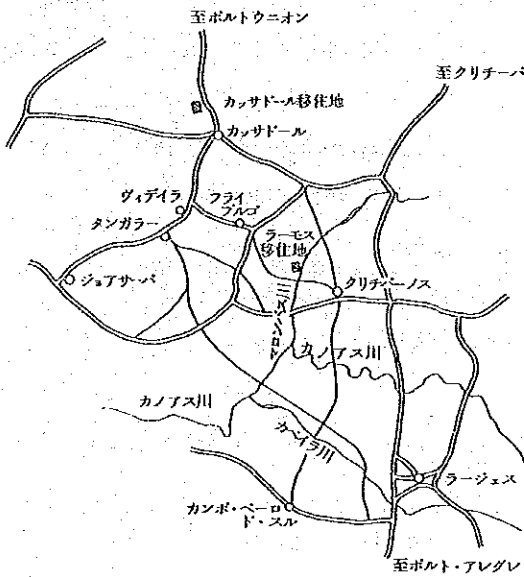
1990年4月1日現在

分 譲 状 況	総面積	275ha			
	ロッテ面積	1ロッテ 25ha			
	分譲条件および価格	土地代(含家屋) Cr \$ 25,000 3年据置 8年々賦無利子 通貨価値修正なし			
	分譲可能面積	周辺に購入可能な私有地あり(時価ha当り Cz 100,000.00)			
	分譲状況	分譲済面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除地
	275ha	--	--	--	
	地権取得	全戸取得済			

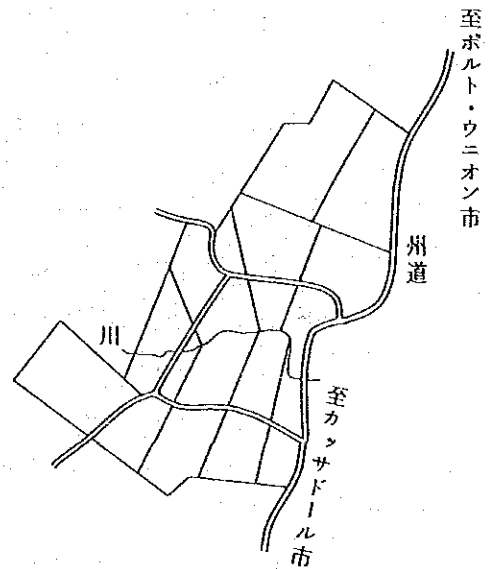
(1987年10月現在)

農	主作物形態	ニンニク、リンゴ、トマト ニンニク、トマト、蔬菜等を主体に、リンゴ、モモ等の果樹を組み合わせた営農
	農機具普及状況	トラクター1.8台、トラック1.0台、動噴1.5台 他 (1986年度農家経済調査結果)
業	営農援護機関 営農指導	サンタ・カタリーナ州農業改良普及事務所(ACARESC)、国立果樹試験場附属訓練センター(ヴィディラ市)があり、カッサドール市に州立農業試験場、また市役所勤行課に州の改良普及技術員が常駐し指導にあっている。
	金融機関	銀行
	主作物販売取扱機関	南伯中央産業組合(サンパウロ)

地区略図



移住地略図



(2) クリシューマ(ファシナル)移住地

所在所	サンタ・カタリーナ州クリシューマ郡フォルキリーニャ FORQUILNINHA, MUNICÍPIO DE CRICIUMA, ESTADO DE SANTA CATARINA (NUCLRO COLONIAL "FAXINAL")	
面積	100ha	
経緯	<p>クリシューマ郡は、炭坑関係者を中心として州内では屈指の経済成長をなしとげてきた工業地帯であるが、近郊に野菜、果樹等の供給地がなく、これらの大部分をサンパウロ、ポルト・アレグレ方面から移入していた。</p> <p>そこで郡当局はラーモス、イタジャイ、カッサドル等協定入植地の例にみられるように、日本人中心の移住地を創設し、生鮮蔬菜類の供給ルートを確立するという構想をもつに至った。</p> <p>1973年5月、IRASC及び郡当局は、従来のように、これを協定移住地として旧JAMICを含めた3者の協定をもって設定することが最良の方法であるとの結論を得、具体的な検討に入った。以降3者の協定によって土地の選定、移住地計画の策定等検討を行った結果1973年12月IRASC、郡当局、旧JAMICが協定書に調印し、ここにクリシューマ移住地の誕生を見るに至った。協定にもとづき、郡当局は土地購入、ロッテ造成、電気導入、住宅建設、IRASCは住宅建設費の負担、融資斡旋、旧JAMICは日本人入植者の選考を夫々担当し1974年6月入植を開始した。</p>	
自然環境	地形 植生・林相 気候	低いなだらかな丘陵と低地が小波状形に続く既成牧場地帯の一部 ユーカリの植林が点在するほかは全面が牧野となっている。 多雨温暖気候 平均最高気温 25.5℃ 平均最低気温 13.6℃ 平均相対湿度 81.0% 降雨量 1,558.4mm
社会環境	主要都市への交通手段 市場	移住地からクリシューマ市の中心までは完全舗装の州道、クリシューマ市よりBR101号線でポルト・アレグレ市、フロリアノ・ポリス市サン・パウロ市へ定期直通バスが利用できる。 クリシューマ市 人口約14万人 距離約 27km(州道) ツパロン市 9万人 " 50km(州道) フロリアノ・ポリス市 24万人 " 210km(BR101号) ポルト・アレグレ市 137万人 " 330km(") クリシューマを中心とする近傍都市を対象に野菜を供給。

地区内道路整備状況	クリシューマ市からバカリア市(リオ・グランデ・ド・スール州)に通ずる州道簡易舗装が移住地の境界線を通っている。
電気	電気は創設と同時に郡により導入されている。
飲料水	飲料水は郡当局により掘抜き井戸を水源とし、上水道として各戸に給水。水質良好。
公共施設	移住地内に公共施設はないが、クリシューマ市にあるものを利用、クリシューマ市内に4病院(600ベット)、移住地より1kmの地点に小学校があり7km地点のフォルキリーニャ村に小・中学校がある。また、クリシューマ市には高校から単科大学まで完備している。

入植戸数と員 (現地入植)	入植数	入植者
	区分	
	戸数	7
	人員	36

主な出身県名：千葉，鹿児島，福岡，北海道，山口

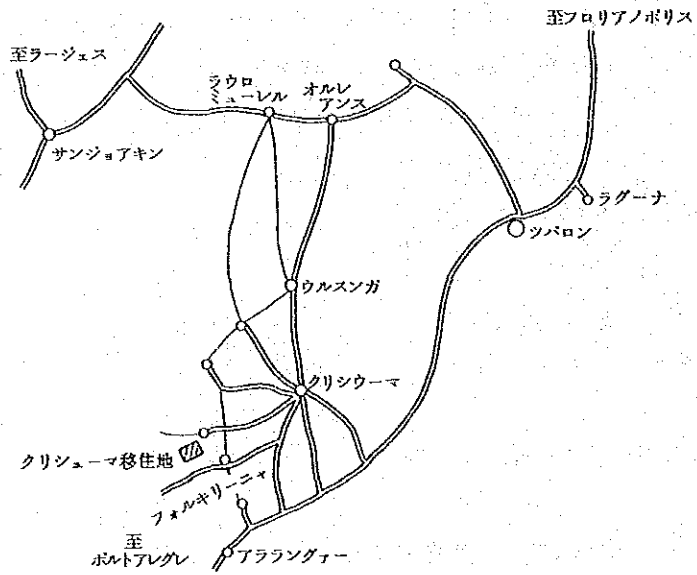
入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
	日本人	居住	5	32	5
		非居住	0	0	0
		計	5	32	5
現地人		0	0	0	

1990年10月1日現在

分譲状況	<p>総面積 100ha</p> <p>ロッテ面積 1ロッテ価格 50,000クルゼイロ(60m²住宅付)1ロッテ約10ha</p> <p>分譲条件 頭金なし，2年据置 8年々賦</p> <p>利息，価値修正等郡負担</p> <p>地権取得 全戸取得済</p>
農業	<p>主作目 キュウリ，チンジャ，トマト</p> <p>形態 キュウリ，チンジャ，トマト，ニンジン等蔬菜の専業，ブドウ，柑橘，桃等が植え付けられている。</p>

農 業	営農支援機関	
	営農指導	サンタ・カタリーナ州農業改良普及事務所 (ACARESC)
	金融機関	銀行
	主作物販売 取扱機関	個人出荷

地区略図



(13) サン・ジョアキン移住地

所在地	サンタ・カタリーナ州サン・ジョアキン郡 MUNICIPIO DE SAO JOAQUIN, ESTADO DE SANTA CATALINA	
面積	1,440 ha	
経緯	<p>サンパウロ市コチア産業組合では、古くから国産リンゴ生産について多大の関心をもっていたがラーモス、カッサドル等の移住地でリンゴ生産実績を踏まえ、組合の拓殖事業の一部として入植地区を買収、1ロット20haに分割、主として分譲したものである。</p> <p>この間の土地代、住宅代にかかわる融資は、中央銀行から州立銀行に手当された原資による地域開発投融資々金によってまかなわれた。なお同移住地は一般にはサン・ジョアキン、コチア村とよばれているが、郡の積極的なコロニア誘致運動に呼応したもので、道路、電化等の諸環境整備には、郡独自の相当な援助をうけているようである。入植開始は1974年からで現在の入植者は60戸である。</p>	
自然環境	地形	傾斜4~5°の丘陵地帯で、ジェラル山脈の頂原野の一部である。各所に散在する低盆地沿いには無数の自然湧水源があり低地部はかなり湿潤である。標高1,354 m
	地質・土壌	玄武岩と結晶片岩を母岩とする壤土、壇壤土が中心でpHは4.0~5.0度で酸性はかなり強い。鉄、アルミナが比較的多く、磷酸の肥効は低い。石塊が多いので、樹木営農以外には適していない。
	植生・林相	町に近く便利な所で、バナナ松の伐採後相当の年月がたっているようで、現在までは殆んど完全な自然牧場として利用され、極く一部の急傾斜地以外は残存森林なく、草地は禾本科の自然牧草である。
	気候	1965~1975年の11カ年平均(サン・ジョアキン果樹試験場-1,418 mm) 年平均気温 13.9℃ 平均最高気温 18.8℃ 平均最低気温 9℃ 降雨量 1553 mm
社会環境	主要都市への交通手段	植民地~サン・ジョアキン市間は完全舗装州道 サン・ジョアキン市から主要都市へは定期バスが運行されている。 サン・ジョアキン市 人口約 2万人 距離約 5 km ラージェス市 " 15万人 " 59 km フロリアノ・ボリス市 " 24万人 " 220 km

社 会 環 境	市場	果樹、輸送園芸産物は殆んど全部サンパウロ中央市場向け出荷され、コチア産組の委託販売（全員が組合員）
	地区内道路整備状況	郡役所で必要に応じて補修
	電気・飲料水	農村電化資金で大部分電化済、飲料水は各農家の個人掘抜井戸を利用。
	公共施設	サン・ジョアキン市にコチア産組倉庫、公民館（事業団助成 1988年3月完成）、移住地内の医療機関、教育施設なし、サン・ジョアキン市に総合病院（入院設備付）、小・中・高校。大学はラージュス市に商経単科大学

主な出身県名：ブラジル生れ、高知、福島、北海道、愛媛、福岡、和歌山、東京、長崎、香川
熊本、宮崎

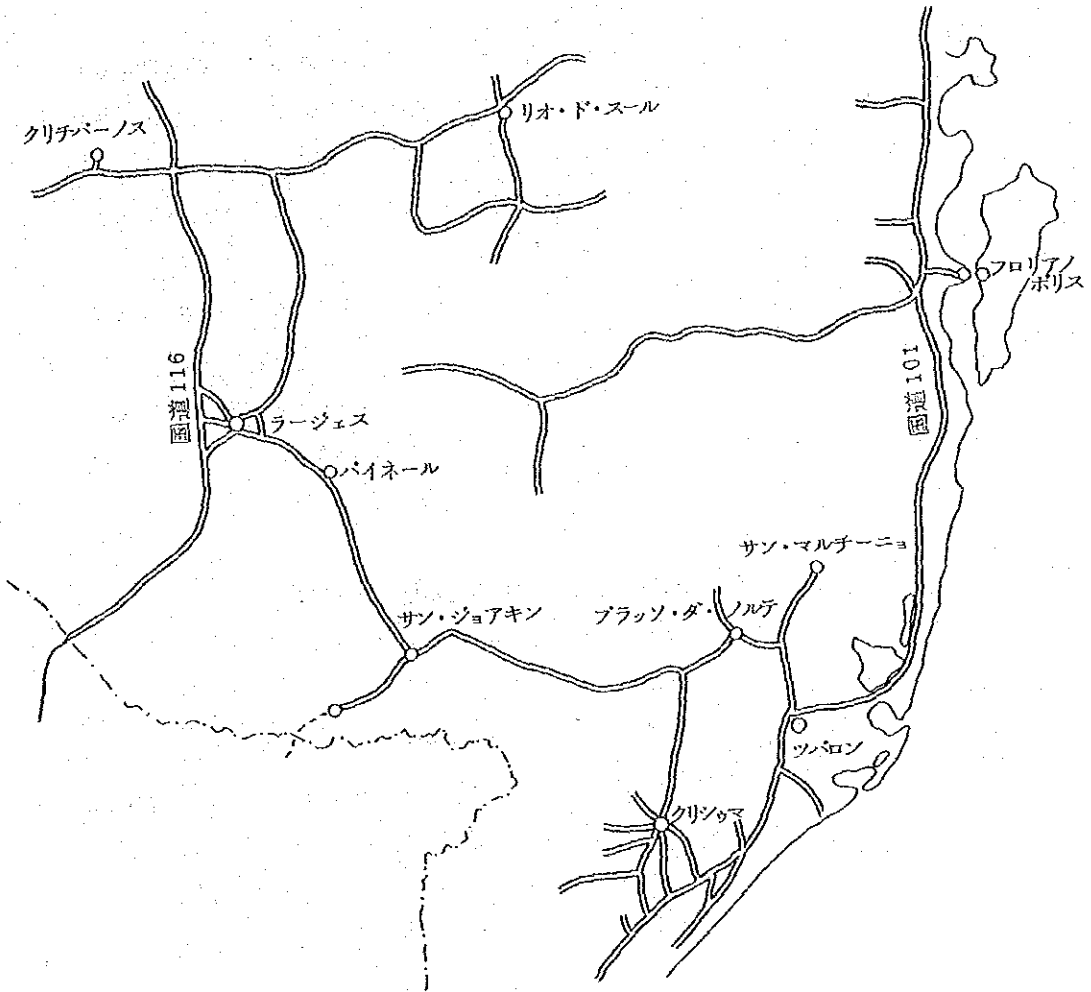
入植世帯数	入植数 区分		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
	日本人	居住	30	142	29
非居住		0	0	0	
計		30	142	29	
	現地人	未調査	未調査	未調査	

1990年4月1日現在

分譲状況	総面積	1,440 ha
	分譲条件及び価格	分譲価格はha当り約5,000~6,000 グルベイロス、融資銀行の州立銀行 利息は年15%、据置3年、8ヶ年払いである。
	地権取得	地権取得済
		(1981年10月現在)

農 業	主作目	リンゴ
	形態	入植地設定計画に沿って殆んど大部分がリンゴ主体農家で、果樹園規模も5,000本~10,000本と比較的大きく半企業の経営といえる。
	営農援護機関 営農指導	コチア産業組合 サン・ジョアキン果樹試験場、サンタ・カタリーナ州農業改良普及事務所 (ACARESC)
	金融機関	銀行、コチア農業信用組合

地区略図



(14) イボチ移住地

所在地	リオ・グランデ・ド・スール州イボチ郡及びドイス・イルモン郡 VALE DAS PALMEIRAS, MUNICIPIO DE IVOTI ESTADO DE RIO GRANDE DO SUL	
面積	257.53ha	
経緯	リオ・グランデ・ド・スール州の分益農移住者が中心となり、事業団の土地購入資金の融資を受けて26戸が集团的に土地購入独立した地区で、移住地農家の雇用青年および散在近郊農家の一部が同様の要領で隣接地区を買収入植し、現在49戸が定住している。	
自然環境	地形	谷から山頂まで150~250mあり、北西に傾斜をなす丘陵の一角にイボチ移住地がある。標高平均200m
	地質・土壌	玄武岩、結晶片岩を母岩とする赤褐色ラテライトで有機質に富み水はけがよい。
	植生・林相	再生雑木林、アカシア・ネグラ植林地が大部分であったが、現在は殆んど全部が畑地となっており、ベッチン河沿いの共有地だけが雑木林で残されている。
	気候	年平均気温21.1℃ 平均最高気温 26.3℃ 平均最低気温 14.2℃ 年間平均降雨量 1,363.8mm 降霜：冬期数回。
社会環境	主要都市への交通手段	ポルト・アレグレ市より完全舗装道路(BR116)50kmでイボチ町に至る。移住地から人口約1万人のイボチ町までは砂利道で約3km、同町からは国道BR116にて主要都市へ定期バス等が多数利用できる。
	市場	ポルト・アレグレ市 人口約137万人 距離約50km ノーボ・ハンブルゴ市 " 19万人 " 10km サン・レオポルト市 " 13万人 " 15km
	地区内道路整備状況	ポルト・アレグレ市、サンパウロ市、リオ・デ・ジャネイロ市、ヨーロッパ諸国。 砂利道、幹線道路は郡道に編入されており、郡役所が随時補修を行っている。
	電気飲料水	電化は州の補助を受け自力で導入。 事業団補助により1976年度に3ヶ所の深井戸を掘削、良好な水質の飲料水が得られる。

公 共 施 設 事業団援助 そ の 他	深井戸4基, ダム及び給水塔, 農協事務所兼購販売所, 公民館(1981年8月完成), 出荷倉庫, 連邦政府助成による体育館建設予定(1988年) 医療施設はイボチ町, ドイス・イルモン市, ノーボ・ハンブルゴ市にある病院を利用している。 イボチ町にも小学校及び中学校がありここに通学しているものもある。高校, 大学はノーボ・ハンブルゴ, サン・レオポルド, ボルト・アレグレ市に通学又は寄宿。
---------------------------	---

入と 植 戸 数 員 (内地)	年度	41~ 46	47	現地入植者
	戸 数 人 員		2 2	49

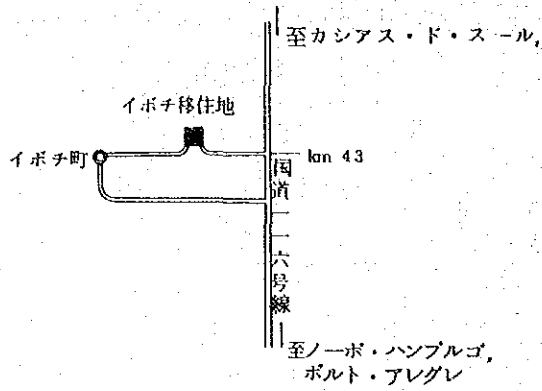
主な出身県名: 鹿児島, 北海道, 山口, 熊本, 静岡

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
	区分		戸 数	人 数	戸 数
	日本人	居 住 非居住	44 0	248 0	43 0
	計		44	248	43

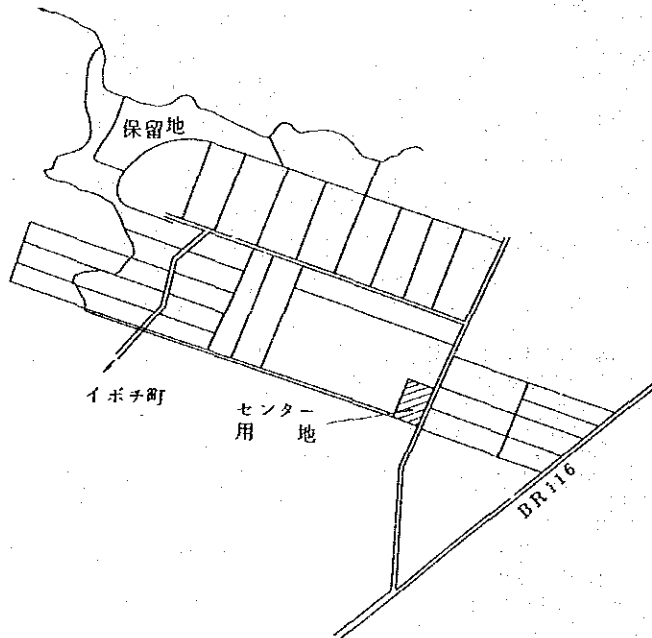
1991年4月1日現在

分 譲 状 況	総 面 積 ロッテ面積 分譲条件及価格 地 権 取 得	257.53ha 1ロッテ 5.84ha 数人の地主より独立期成会が一括購入(事業団の融資援助)事後各人に分割。 全戸取得済
農 業	主 作 目 形 態 農機具普及状況 家畜飼養頭数 営農指導 金融機関 主作物販売 取扱機関	ブドウ, カーネーション, カキ イタリア種, 巨峰種などの生食用ぶどうを主幹作物としてこれに, ビワ, 柿, 柑橘, モモ等の果樹及び野菜を組み合わせた営農を行っている。 耕耘機1.2台, トラック0.4台, 動噴2.0台 他 (1986年度農家経済調査結果) 乳牛(仔0.1頭) 州農業改良普及事務所 銀行 イボチ農協 (1986年度農家経済調査結果)

地区略図



移住地略図



(15) イタチ移住地

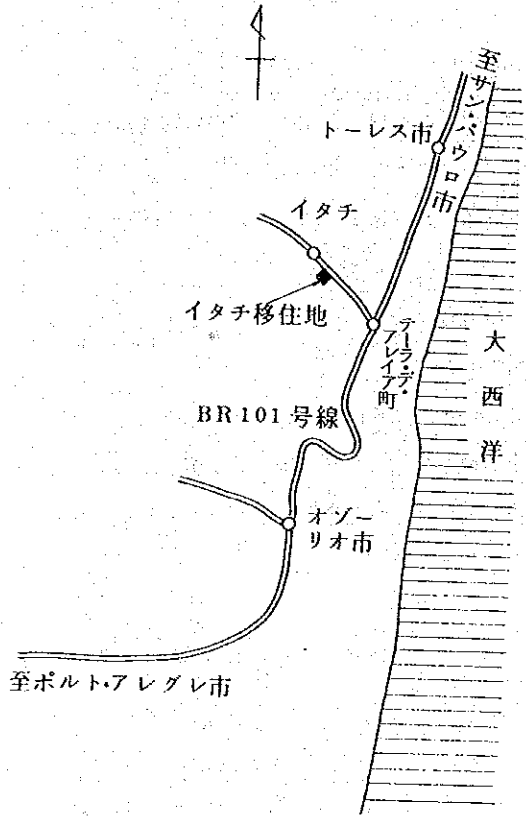
所在地	リオ・グランデ・ド・スール州オゾーリオ郡イタチ村 VILA ITATI, MUNICIPIO DE OSORIO, ESTADO DE RIO GRANDE DO SUL	
面積	153.5 ha	
経緯	リオ・グランデ・ド・スール州の分益農移住者が中心となり、事業団の土地購入融資を受けて1967年集団的に土地購入し独立した地区である。現在15戸が入植定住している。	
自然環境	地形	東は河どまりで、移住地の東半分はその河の沖積層の谷、西半分は丘陵である。谷と丘陵の間に小川と低平地がある。標高16m
	地質・土壌	玄武岩、結晶片岩を母岩とする褐色のラテライトで、有機質に富み水はけがよい。
	植生・林相	再生雑木林
	気温	年平均気温 17.9℃
	(トーレス市)	平均最高気温 21.7℃ 平均最低気温 14.4℃
		年間降雨量 1,423mm
社会環境	主要都市への交通手段	移住地～オゾーリオ市、ポルト・アレグレ市とも完全舗装(BR101)である。バス便は直行4便運行している。
		トーレス市 人口約 4万人 距離約 60km
		オゾーリオ市 " 3万人 " 70km
		ポルト・アレグレ市 " 137万人 " 170km
	市場	ポルト・アレグレ市が主市場、その他近傍都市。
	地区内道路整備状況	郡道がイタチ村を環状に1周しており、砂利道であるが、雨天でもバス運行の中止はない。
	電気	電化済み。
	放料水	井戸を使用
	公共施設	
	農協	共同花卉冷蔵庫兼会場(伯銀の融資援助)

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人数	戸数
日本人	居住	13	51	13	
	非居住	4	21	0	
	計	17	72	13	

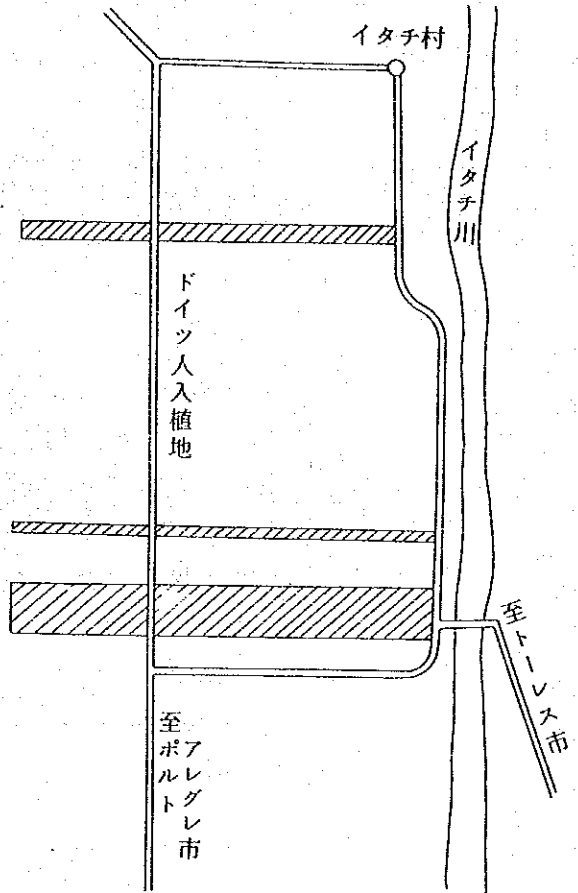
1990年4月1日現在

分譲状況	総面積	153.5 ha			
	ロッテ面積	1ロッテ平均 14 ha 但し一部入植者(6戸)は9.6 ha			
	分譲条件及価格	43年転入者 7戸 ha当り 850 Cr\$ 事業団融資を含む現金一括払い 45年転入者 2戸 ha当り 1,200 Cr\$			
	分譲状況	分譲済面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除地
		153.5 ha	—	—	—
地権取得	全戸取得済				
農業	主作物	バラ, キク, カーネーション等。			
	形態	キク, カーネーション, バラ等の花卉専業営農である。			
	営農支援機関				
	営農指導				
金融機関	銀行				
主作物販売取扱機関	ボルト・アレグレ市場の委託販売業者				

地区略図



移住地略図



(16) バジュー移住地

所在地	リオ・グランデ・ド・スール州バジュー郡フロレンサ村 VILA FLORENSA, MUNICIPIO DE BAGE, ESTADO DE RIO GRANDE DO SUL		
面積	24 ha		
経緯	1961年4月バジュー市近郊に分益農としてブラジル人農場に入植し、以来段階的に借地営農にきりかえた4家族が、土地を共同購入し従来の蔬菜単作に果樹を加え、営農を安定させる計画をたて事業団が融資等でバックアップした独立移住地である。現在の入植定住者は4戸である。		
自然環境	地形	なだらかな波状地形、移住地の境界をなすバジュー川に向って、ゆるやかに傾斜している。(標高212m)	
	地質・土壌	赤色ブレリー土地帯に位置しているが、暗灰色味をおびた砂壤土である。心土層は白い粘土質で、表土は浅く(40~50cm程度)軽い土で流亡しやすい。保水力も決して強い方でない。特に磷酸分が貧弱であるが、pHは5.5~6.5である。	
	植生・林相	即成の牧場の一部である。	
	気候	高原内陸性の夏乾冬湿がはっきりした気象型である。年平均気温17.7℃、平均最高気温23.6℃、平均最低気温12.5℃、雨量1,414mm、降霜日数65日。	
社会環境	主要都市への交通手段	バジュー市中心街まで3km、ポルト・アレグレ市までは370km、全線舗装されている。バジュー市は、ウルグァイ国境より60kmの地点に存在し、軍事上重要性があるので国境守備連隊が配置されている。又、大農場に広く取り囲まれた市で、商業も活況を呈し、また市全体としては極めて落ちついた雰囲気をかもしている。市内人口約11万人。	
	市場	バジュー市、ポルト・アレグレ市	
	区内道路整備状況	私道であるが、良好な状態	
	電気	電気は1984年に導入	
	飲料水 公共施設	飲料水は各ロッテに掘抜き井戸を設備 移住地内にはないが、バジュー市のものを利用	
入植戸数 (内地)	と	現地入植者	
	人員	戸数	5
		人員	24

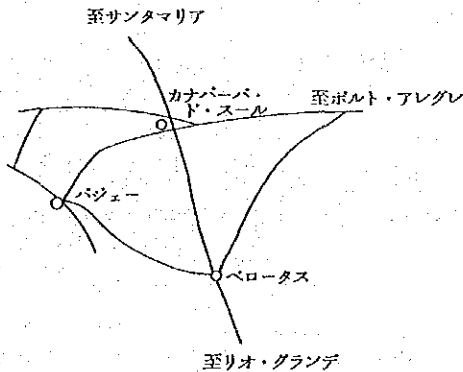
主な出身県名：長 崎

入植世帯数	入植数		入植世帯数		農家戸数
			戸 数	人 数	戸 数
日本人	居 住	4	16	3	
	非居住	0	0	0	
	計	4	16	3	
	現 地 人	未調査	未調査	未調査	

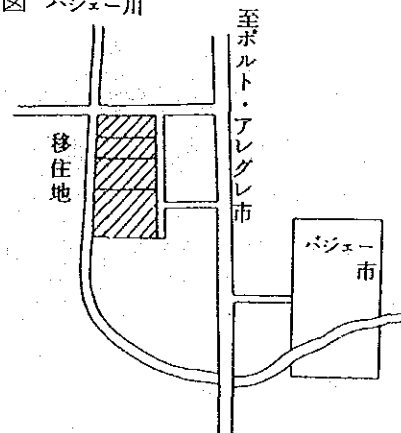
1990年4月1日現在

分譲状況	総面積	24 ha			
	ロッテ面積	5 ha (3 ロッテ), 9 ha (1 ロッテ)			
	分譲条件および価格	ha 当り 2,000 Cr \$ で購入 周辺地価 (時価 Cr \$ 500,000 ~ 1,000,000 / ha)			
	分譲状況	分譲済面積	未分譲面積	道路市街地等利用地	除 地
		26 ha	—	—	—
地権取得	全戸取得済				
農業	主 作 目	ぶどう, りんと他の果樹および蔬菜			
	営農支援機関 営農指導 金融機関	州農務局地区改良普及所 銀行			
	主作物販売 取扱機関	バジュー市の目抜き通りで隔日移動朝市があるので直売小売を行うとともに、市内の蔬菜卸売業者に卸売りを行っている。			

地区略図



移住地略図 バジュー川

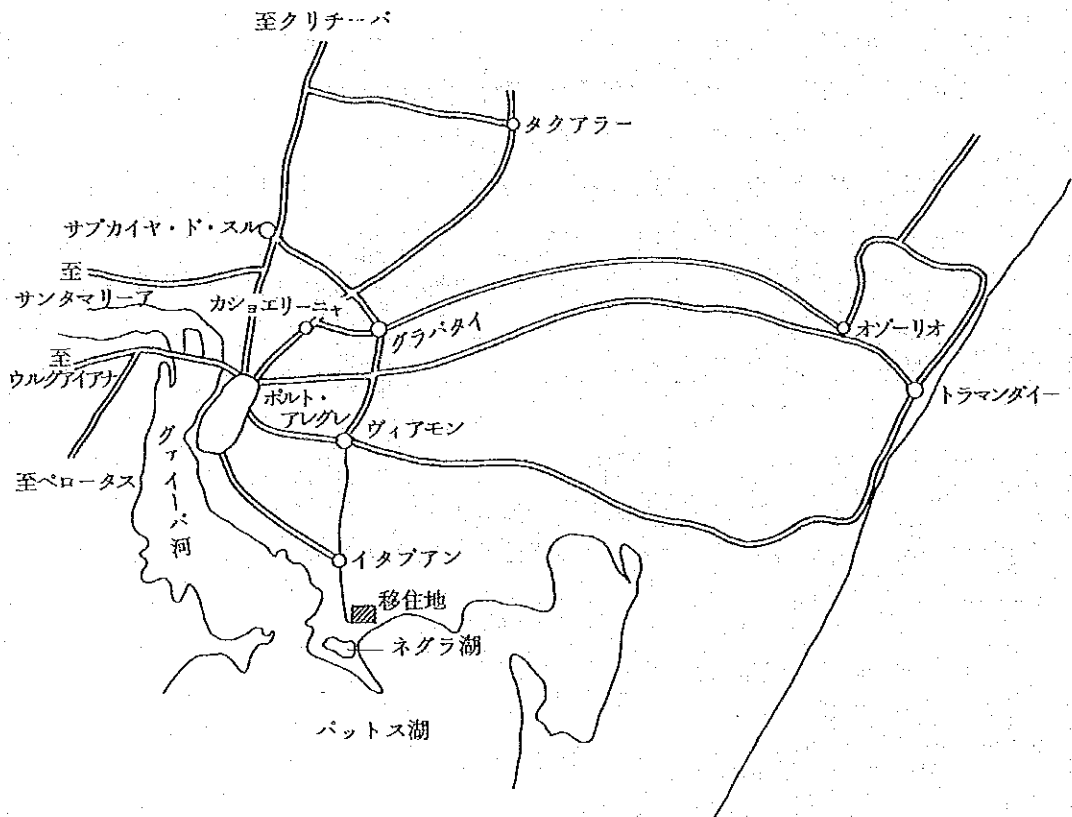


(17) イタプアン移住地

所在地	リオ・グランデ・ド・スール州ヴィアモン郡イタプアン村 VILA ITAPUÃ, MUNICIPIO DE VIAMÃO, ESTADO DE RIO GRANDE DO SUL	
面積	455ha (但し日本人入植地区 19ロッテ)	
経緯	1975年にイボチ移住地ぶどう祭りに招待した州農務長官より、上記地区で、かつて州政府が造成した農地解放植民地の一部に未分譲があるので、若し日本人農家が入植するのであれば、これを分譲してもよいとの下話があった。この情報は、いち早くポルト・アレグレ市郊外の借地蔬菜農家に伝わり、入植したいとするグループが自然に出来上り、直接州との話合いの結果漸次入植するに至った。現在の入植戸数は15戸である。	
自然環境	地形	傾斜丘地ならびに湿地からなっており、この湿地帯は延々と約8.5km続いてグワイバ川とつながっている。
	地質・土壌	傾斜丘地区は、砂質が強いため、降雨による表土流失が著しく、地味は劣悪である。 低湿地は、グワイバ川に沿ったネグロ湖の湾形になった部分にあり、湿生多年草が長年の間に堆積して出来た泥炭層である。
	植生・林相	地下水位が非常に高く、排水溝を掘るとそこに殆んどそのまま滞水するが、丘地は貧弱な雑喬木草原であったが、現在殆んど切りつくされているので、侵蝕がひどい。草生はまばらな禾本科植物が主である。低湿地はカヤツリグサ、チリリカとよばれる湿生多年草が主である。
	気候	最寄りのポルト・アレグレ市の平均気候は下記のとおりで、概ねこの数値に近いように思われるが、相対湿度がより高く、更に河面からの風が比較的強いので、冬期にも殆んど目に映るような降雨がないのが特徴となっている。 年平均気温 19.3℃ 年降雨量 1,322mm 平均最高気温 24.5℃ 降雨日数 123日 平均最低気温 14.5℃
社会環境	主要都市への交通手段	ポルト・アレグレ市より約30kmのラミ地区まではアスファルト道路で、あとの35kmは簡易舗装道である。入植地より5kmの地点からポルト・

社 会 環 境	市場	アレグレ向けバス1日数往復、ラミ地区からは30分おきにバス便がある。			
	地区内道路 整備状況 電気 飲料水 公共施設	<p>グィアモン市 人口約 18万人 距離約 65km</p> <p>ポルト・アレグレ市 " 137万人 " 70km</p> <p>ポルト・アレグレ中央卸市場</p> <p>入植者の自己負担で必要により補修しているが、砂利投入をせず地ならしだけのため、強雨時後は通行にかなり苦心している。</p> <p>1984年に自力で導入。</p> <p>各自の手掘井戸であるが、水質は良好。</p> <p>平成2年度予算で公民館を建設中。設備費を含めて補助額は870万円。</p> <p>移住地より5kmの地点に農村小学校がある。(4年課程)</p> <p>その後はイタブアン町に本校がある。</p> <p>中学以上は殆んどベレン・ノーボ町又はポルト・アレグレ市。</p> <p>医療関係は主としてポルト・アレグレ市又はベレン・ノーボ町(30km)</p>			
入 植 世 帯 数	区分 \ 入植数		入植世帯数		農家戸数
			戸数	人員	戸数
	日本人	居住	14	73	14
		非居住	3	19	3
		計	17	92	17
現地人		未調査	未調査	未調査	
1990年4月1日現在					
分 譲 状 況	総面積	455ha(但し日本人入植地区 19ロッテ)			
	ロッテ面積	平均23.94ha			
地 権 取 得	分譲状況	満植			
	地権取得	据置なし、10年々賦で、土地代の完済をもって地権が与えられる。 地権全員取得済。			
1987年10月現在					
農 業	主作目	チジャ、トマト、キュウリ、ニンジン、カリフラワー			
	形態	チジャ、トマト、キュウリ、ニンジン等の蔬菜専業。柑橘類、カキ等の果樹類が若干植え付けられている。			
	営農支援機関	銀行			
	営農指導				
	金融機関				

イタプアン地区略図



(18) その他主な移住地の概況

入植地名	州名	入植者数		農家戸数	備考
		戸数	人数		
ベロッタス	リオ・グランデ・ ド・スール	不明	不明		都市近郊農業 兼商業
サンタ・マリア	リオ・グランデ・ ド・スール	29	183	8	都市近郊農業 兼商業
計					

1991年4月1日現在

III サン・パウロ事務所

団体名 (日本語名、他語名)	代表者名及び所属団体名、任期	連絡先(専用事務所区事務所別)及び電話番号	会員の資格	会員数	法人化取得の有無及び取得年月日	諸施設事務従事者の有無・内容・職員数等	機関紙の有無 名称並びに発行部数	備考
ブラジル日本文化協会 SOCIEDADE BRASILEIRA DE CULTURA JAPONESA.	山内 淳 ATSUSHI YAMAUCHI	RUA SÃO JOAQUIM, 381 SÃO PAULO, SP, BRASIL. CEP-01508 TEL: 279-5233	(1) 個人及び法人 (2) 同僚家族を含む めない	個人会員 5069名 法人会員 528社 (1991 5現在)	1955. 12. 17. 取得	専用事務所 専従職員 40名	「コロニア」 5000部 年1回	1. 文化活動(美術、工芸、生花、音楽、芸能等) 2. 有獎券業(奨学生、日本留学生等) 3. 日伯文化交流事業(日本館、美術館の開設、日本移民史料館の建設と運営) 4. JICAの業務委託団体(教育・文化) 5. 監管官庁: 法務省 6. 1955年11月設立
サンパウロ日伯援護協会 BENEFICÊNCIA NIPO-BRASILEIRA DE SÃO PAULO.	竹中 正 TADASHI TAKENAKA 任期 2年	本部: サンパウロ市内 文藝ビル5階、地階 RUA SÃO JOAQUIM, 381 5º ANDAR SÃO PAULO, SP, BRASIL, CEP-01508 TEL: 278-1640 総務課事務所: カンボス・ド・ジノ ルドン市内 厚生ホーム(老人ホーム): サン トス市内 やすらぎホーム(心身障害者): グアルーリョス(サンパウロ郊外) イッペランジヤ・ホーム(老人ホーム): スザノ 日伯友好病院(総合病院): サン パウロ市内	(1) 個人及び法人 (2) 同僚家族を含む めない	個人会員 14798名 法人会員 286社 (1991 1現在)	1959. 1. 28 取得	専用事務所 専従職員 151名 日伯友好病院 専従職員 461名	なし	1. 福祉事業、保健衛生事業、婦 科診療所、老人ホーム、精神 病患者社会復帰センター 2. JICAの業務委託団体 (医療) 3. 監管官庁: サンパウロ州政府 社会福祉局 4. 1959年1月28日設立
ブラジル農業拓殖協同組合中央会 COOPERATIVA CENTRAL AGRICOLA E DE COLONIZACÃO DO BRASIL.	井上ザルバジオ 忠志 GERVASIO TADASHI INOUE 任期 4年	RUA SÃO JOAQUIM, 381 6º ANDAR, SÃO PAULO, SP, BRASIL CEP-01508 TEL: 278-2544	法互組合	組合員数 個人 259名 法人 26社		職員 3名 役員 12名	なし	1. 実習生受け入れ、移住者導入手 続代行、移住者受け入れ、指導 2. JICAの農業移住者導入手 続委託団体 3. 監管官庁: 農務省 4. 1958年4月設立

団 体 名 (日 本 語 名 , 但 語 名)	代 表 者 名 及 び 所 属 団 体 名 , 任 期	通 信 先 (専 用 事 務 所 設 置 事 務 所 の 別) 及 び 電 話	会 員 の 属 格	会 員 数	法 人 格 取 得 の 有 無 及 び 取 得 年 月 日	成 員 改 更 取 得 状 況 の 有 無 ・ 内 容 ・ 職 員 数	借 貸 金 の 有 無 及 び 借 入 額	備 考
工業移住者協会 ASSOCIAÇÃO DOS IMI- GRANTES-TECNO- INDUSTRIAIS NO BRASIL	岡 本 文 郎 FUMIO OKAMOTO 任 期 2 年	RUA DOS ESTUDANTES, 15 LQ. ANDAR, S/103, SÃO PAULO, SP, BRASIL. CEP-01905 TEL: 270-3072	法定団体	1,750名	1978. 5. 1 取得	職員 3名 役員 11名	「なかま」 3,000部 年 6回	1. 工業移住者の保護 2. 労働団の技術移住者導入委託 業務 3. 監督官庁：農務省
南米銀行 BANCO AMÉRICA DO SUL S/A.	菅 田 揚 助 YOSUKE YOSHIDA 任 期 2 年	AV. BRIGADEIRO LUIS ANTÔNIO, 2020, BELA VISTA SÃO PAULO, SP, BRASIL CEP-01318 TEL: 288-4933	株式会社	支店数 120店		職員 8,256名 役員 13名 (1987. 12現在)		1. 銀行業務、外国為替、政府機関 保証受入委託、納税受入 業務 2. JICAの農業融資委託業務 3. 監督官庁：大蔵省 4. 1940年10月設立
コチア産業組合中央会 COOPERATIVA AGRÍCOLA DE COTIA-COOPERATIVA CENTRAL.	井上セルバシオ 忠志 GERVASIO TADASHI INOUE 任 期 3 年	AV. JACUARÉ, 1487 JACUARÉ, SÃO PAULO, SP, BRASIL CEP-05346 TEL: 268-1522	法定組合	組合員数 16507名 (1988. 4 現在)	1927. 12. 27 取得	職員 2,453名 役員 14名	「月報コチア」 毎月 ポルトガル語分 1,000部 日本語分 500部	1. 産業組合活動 2. 監督官庁：農務省
南伯農協協同組合中央会 COOPERATIVA CENTRAL AGRICOLA SUL-BRASIL.	宮 森 敏 雄 TOSHIO TOMIMORI 任 期 3 年	RUA MENDES CALDEIRA, 300 BRAS, SÃO PAULO, SP, BRASIL CEP-03007 TEL: 227-8822	法定組合	組合員数 1,008名 (1988. 6 現在)		職員 1,330名 役員 11名	「月報」 毎月 3,000部	1. 産業組合活動 2. 監督官庁：農務省 3. 1929年12月29日設立
カンパワロ産業組合中央会 COOPERATIVA CENTRAL AGRICOLA DE SÃO PAULO	梅 森 さとし SATOSHI HIMORI 任 期 3 年	AV. EUCLIDES MIRAGALHA, 2963 CAIXA POSTAL, 242 BIRIGUI, EST. DE SÃO PAULO, BRASIL CEP-16200 TEL: (0186)-42-2118	法定組合	3 県協 1,500名		職員 140名 役員 5名	なし	1. 産業組合活動 2. 監督官庁：農務省 3. 1934年4月23日設立

団 体 名 (日本語名, 他語名)	代表者名及び所 属団体名, 任期	連絡先 (専用事務所区 事務所の別) 及び電話	会員の資格	会員数	法人取得の有無 及び取得年月日	施設・事務所の 有無・内容・ 職員数等	機関紙の有無 名称並びに 発行部数	備 考
ブラジル日本商工会議所 CAMARA DE COMERCIO E INDUSTRIA JAPONESA DO BRASIL.	後 藤 隆 TAKASHI GOTO 任期 2年	AV. PAULISTA, 475 130. ANDAR, BELA VISTA, SAO PAULO, SP, BRASIL. CEP-01311 TEL:287-6233	(1) 法人 (2) 同僚家 族を含 めない	法人会員 329社 (9.15 現在)	1951. 6. 1 取得	専用事務所 職員 15名	「ブラジル経済 情報」 毎月 2回 1,000部	1. 日伯貿易の振興 2. 経済情報調査 3. 1940年5月設立
ブラジル日本都道府県人会連合会 FEDERACAO DAS ASSOC- IACOES DE PROVINCIAS DO JAPAO NO BRASIL.	羽 田 宗 義 MUNEYOSHI HADA 任期 1年	AV. LIBERDADE, 486 22. ANDAR-S/22, LIBERDADE, SAO PAULO, SP, BRASIL CEP-01502 TEL:270-5224	法定団体 (1) 法人及 び賛助 会 (2) 同僚家 族を含 めない	法人会員 4,6都道 府県人会 (京都は 除く) 賛助会員 70名	1975. 4. 10 取得	専用事務所 専従職員 2名	「県連ニュース」 100部 不定期 「ブラジル県連」 2,000部 不定期	1. 各都道府県人会の親睦と福祉 探訪 2. 技術研修生の送受 3. 監察官庁: 在府庁 4. 1966. 4. 12設立
日本文化連盟 ALIANCA CULTURAL BRASIL-JAPAO	内 山 良 文 YOSHIFUMI UCHIYAMA 任期 2年	RUA SAO JOAQUIM, 381 22. ANDAR, LIBERDADE SAO PAULO, SP, BRASIL. CEP-01508 TEL:278-9164	(1) 個人及 び法人 (2) 同僚家 族を含 めない	個人会員 735名 法人会員 142社 (1991.4 現在)	1956. 11. 17 取得	専用事務所 専従職員 74名	なし	1. 日本語の普及 2. 日本文化, 邦楽の普及 3. 日本文化研究所の維持, 運営 4. 1956年7月設立
希望の家福祉協会 SOCIEDADE BENEFICEN- TE CASA DA ESPERANCA	井 川 末 敏 SUZUKAZU IGAWA 任期 2年	RUA DR. SIQUEIRA COMPOS, 104 SAO PAULO, SP, BRASIL CEP-01509 TEL:270-7395	公益法人	会員 3,000名 賛助会員 1,000名		専従職員 44名 役員 30名	「ESPERANCA」 3ヶ月毎 500部	1. 重障身心精弱者救護 (81名) 2. 監督官庁: サンパウロ州政府 社会福祉局 3. 1970年6月10日設立
こどものそ ASSOCIACAO PRO- EXCEPCIONAIS KODOMO NO SONO	井 口 隆 MAKOTO IGUCHI 任期 2年	RUA PROFESSOR HASEGAWA, 1198 ITAQUERA, SAO PAULO SP, BRASIL. CEP-08200 TEL:205-6437	公益法人	個人会員 9,200名 法人会員 700社		専従職員 38名 役員 28名	「こどものそ」 10,000部 年 1回	1. 心身障害者救護 (87名) 2. 監督官庁: サンパウロ州政府 社会福祉局 3. 1958年5月24日設立
救 済 会 ASSISTENCIA SOCIAL DOM JOSE GASPAR	渡辺マルガリータ MARGALIDA WATANABE 任期 2年	RUA SAO JOAQUIM, 381 42. ANDAR, LIBERDADE, SAO PAULO, SP, BRASIL CEP-01508 TEL:278-7248	公益法人	8,180名 (1991. 5現在)		職員 70名 役員 33名	なし	1. 障害者の救済, 老人ホーム (他の團: 131名)の運営 2. 監督官庁: サンパウロ州政府 社会福祉局 3. 1953年5月11日設立

団体名 (日本語名、但野名)	代表者名及び所属団体名、任期	連絡先(専用事務所、事務所の別)及び電話	会員の資格	会員数	法人格取得の有無及び取得年月日	活動事業定職員の有無・内容・職員数等	機関紙の有無、名称並びに発行部数	備考
中央ブラチイ日本人会	天海 忠 TADASHI AMAGAI 任期 1年	サンパウロ州ジャカレイ郡中央ブラチイ、ジャカレイ移住地内 CAIXA POSTAL, 33 A/C DEPOSITO CAC COOP. 2153 JACAREI, SÃO PAULO SP. BRASIL CEP-12300	ジャカレイ 移住地在住 の家長	34名		公民館 日語学校 教師宿舎 倉庫	なし	
グアタバラ農事文化体育協会 ASSOCIAÇÃO AGRO- CULTURAL E ESPORTIVO DE GUATAPARA	坂 榮 明 五 SHOGO SHITARA 任期 1年	サンパウロ州リベロン・プレット 郡グアタバラ移住地内 CAIXA POSTAL, 1337 RIBEIRÃO PRETO, SÃO PAULO, BRASIL CEP-141000 TEL-016-673-0088	グアタバラ 移住地在住 の18才以 上の者	116名	法定団体 1981. 6. 4	職員数 1 公民館 日語学校	「グアタバラ 新聞」 150部	
グアタバラ農耕水利組合 COOPERATIVA DE AGROPECUARIA MISTA DE GUATAPARA LTDA	黒 沢 典 NORI KUROSAWA 任期 2年	同上 TEL-016-673-0016	グアタバラ 移住地内土 地所有者	106名	法定組合	職員数 1 事務所	なし	
ビニャール移住地文化体育協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVO DE COLONIA PINHAL	広 前 藤 男 YOSHIO HIROSE 任期 2年	サンパウロ州サン・ミゲル・アル カンジョ郡ビニャール移住地内 CAIXA POSTAL, 80 SÃO MIGUEL ARCANJO, SÃO PAULO, SP. BRASIL CEP-18230	ビニャール 移住地内に 居住する日 系人	55名	法定団体	公民館 日語学校 教師宿舎 倉庫	なし	
ムンド・ノ・ガ葡民地会	高 松 栄 治 EJI TAKAMATSU 任期 1年	サンパウロ州オウリーニョス郡ム ンド・ノ・ガ葡民地内 CAIXA POSTAL, 100 OURINHOS SÃO PAULO BRASIL. CEP-19900	ムンド・ノ ーガ葡民地 に居住する 日系人	17名	未公認		なし	

団体名 (日本語名、伯源名)	代表者名及び所属団体名、任期	連絡先(兼用事務所及び事務所の別)及び電話番号	会員の国籍	員数	法人格取得の有無及び取得年月日	施設・設備の有無・内容・員数等	機関紙の有無・名称並びに発行部数	備考
桜高森日本人会 SOCIEDADE DOS AGRICULTORES DA COLÔNIA CEREJEIRA	加藤 正 治 MASAHARU KATO 任期 1年	サンパウロ州グアラテラレマ郡セレンジャ地区桜高森移住地内 CAIXA POSTAL, 33A/C DEPÓSITO C.A.C.COOP. 489 JACAREÍ, SAO PAULO BRASIL CEP-12300	桜高森移住地に居住する日本人	69名	法定団体 1964年	公民館 倉庫	なし	
アウリベル移住地日本人会	堀 英 光 SHIGEMITSU HORI 任期 1年	サンパウロ州カッポン・ポニート郡アウリベル移住地内 CAIXA POSTAL, 13 CAPÃO BONITO, EST. DE SAO PAULO, BRASIL CEP-18300	アウリベル移住地に居住する日本人	15名	未公認		なし	
バルゼア・アレグレ自治文化体育協会 ASSOCIAÇÃO ESPORTIVA E CULTURAL NIPO-BRASILEIRA DE VARZEA ALEGRE	鈴 川 伊 助 ISUKE SUZUKAWA 任期 2年	南マット・グロウッ州チレレーノス郡バルゼア・アレグレ移住地内 CAIXA POSTAL, 752CAMPO GRANDE, EST. DE MATO GROSSO DO SUL, BRASIL CEP-79100	バルゼア地区居住者	55名	法定団体 1979. 5. 14	公民館 学生寮 専従職員 4名	なし	
バルゼア・アレグレ農業組合 COOPERATIVA AGRÍCOLA MISTA DE VARZEA ALEGRE	沖 島 義 智 YOSHITOMO OKISHIMA 任期 2年	南マット・グロウッ州カンボン・グランヂ市 CAIXA POSTAL, 379 RUA 26 DE AGOSTO, 725CAMPO GRANDE, EST. DE MATO GROSSO DO SUL, CEP-79100 TEL.383-1732	チレレーノス郡に居住して労働をしている農家	31名	法定組合 1974. 8. 17	本部 販売ボ・グナン 売場 産・ロンド/ボリス 飼料工場 職員 50名	なし	
クリチバ自治文化奨励協会 SOCIEDADE CULTURAL E BENEFICENTE NIPO-BRASILEIRA DE CURITIBA	山 田 健 昇 KENSHO YAMADA 任期 1年	パラナ州クリチバ市 RUA ATILIO BORJO 71, CURITIBA, EST. DE PARANA, BRASIL CEP-80050 TEL. (041)-264-5474	任意 (クリチバ一市内及び近郊)	1,200 家族 1,200名	1967. 7. 28 取得	専任事務所 専従職員 8名 クリチバ 学生寮 54名 専従職員 1名	「月報」 毎月1回 1,400部	1. 文化・福祉・厚生活動 2. 巡回診療 3. 育児事業

団体名 (日本語名、他語名)	代表者名及び所属団体名、任期	連絡先(専用事務所、郵便事務所)及び電話番号	会員の資格	会員数	法人格取得の有無及び取得年月日	施設・専任職員等の有無・内容・数	標記の名称並びに発行部数	備考
パラナ日伯文化連合会 ALIANÇA CULTURAL BRASIL-JAPÃO DO PARANÁ	沼田 直 作 TEISAKU NUMATA 任期 2年	パラナ州ロンドンリーナ街 RUA TERESINA, 70 64, A, LONDRINA, EST. DE PARANÁ, BRASIL. CEP-86100 TEL.: (0432) -27-6751	パラナ州在住 日系文化 協会日本人 会	85団体	1958. 8. 17	事務所専任職員 4名 パラナ歴史博物館 館裏野球場 3.8 ha 専任職員 3名	なし	JICAの委託業務 (教育・文化・医療・老人福祉)他
日光移住地文化体育協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA DE VILA FORMOSA	中 村 弘 HIROSHI NAKAMURA	パラナ州ドゥラジシオン郡日光移住 地内 CAIXA POSTAL, 225 UMJARAMA, EST. DE PARANÁ, BRASIL CEP-87500	日光移住地 及び近隣の 居住日系人	183名	法定団体	公民館 日語学校	なし	南伯越気行 0446-22-1786
サン・ジョアキーン日伯文化 体育協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA NIPO- BRASILEIRA DE SÃO JOAQUIM	FUMIO HIRANAGA 任期 1年	サンタ・カタリーナ州サン・ジョ アキーン郡 CAIXA POSTAL, 187 SÃO JOAQUIM, EST. DE SANTA CATARINA, BRASIL CEP-88600	サン・ジョ アキーン地方 日系人	65名	1979年認可	臨時執務	なし	
クリチバペーノス日伯文化協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL BRASIL-JAPÃO DE CURITIBANOS	尾 中 弘 孝 HIROTAKA ONAKA 任期 1年	サンタ・カタリーナ州クリチバペ ーノス郡 CAIXA POSTAL, D-33 CURITIBANOS, EST. DE SANTA CATARINA, BRASIL CEP-89520 (仮事務所) (0492) 45-0190R-4	サンタ・カ タリーナ州 クリチバペ ーノス郡日系 人	250名	1977年認可	臨時執務	なし	ラーモス移住地センターに仮事務 所
カッタドール日伯文化体育協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA NIPO- BRASILEIRA DE COLONIA GOV. COLOMBO MACHADO SALLES	安孫子 清 吉 SEIKICHI ABIKO 任期 1年	サンタ・カタリーナ州カッタドール 郡 CAIXA POSTAL, D-60 CAÇADOR, EST. DE SANTA CATARINA, BRASIL CEP-89500	サンタ・カ タリーナ州 カッタドール 郡日系人	18名	1979年認可	臨時執務	なし	

団 体 名 (日本語名、伯語名)	代表者名及び所属団体名、任期	連絡先(専用事務所、事務所別の)及び電話番号	会員の資格	会員数	法人格取得の有無及び取得年月日	施設等従員の有無・内容・原員数等	機関紙の有無・名称並びに発行部数	備 考
両日伯感愛協会 ASSOCIAÇÃO DE ASSISTÊNCIA NIPO-BRASILEIRA DO SUL	杉 本 義 雄 YOSHIO SUCIMOTO 任期 1年	リオ・グランデ・ド・スール州ポルト・アレグレ市 (専用事務所 TEL.42-1488) AV. JAIME VIGNOLI, 235 BAIRRO ANCHETA, PORTO ALEGRE, EST. DE RIO GRANDE DO SUL, BRASIL CEP-99000	南米2州在 住日系人 (社團法人)	497名 (91.5 現在)	1969.10.11 認可	事務局 (専従 3名) 学生寮 12名 役員 4名	「救世ニュース」 毎月発行 500部	1. 救世、福祉、厚生、文化事業 2. 事務所運営、巡回診療 3. 当地カトリック大学、成人病研究所との協賛協定により患者の検診を行う。 4. JICAの委託業務(教育・文化・医療)
ポルト・アレグレ日伯青年会 ASSOCIAÇÃO GAUCHA NIPO-BRASILEIRA	門 間 忠 雄 TADAO MONMA 任期 1年	リオ・グランデ・ド・スール州ポルト・アレグレ市(仮事務所) AV. JAIME VIGNOLI, 235 BAIRRO ANCHETA, PORTO ALEGRE, EST. DE RIO GRANDE DO SUL, BRASIL	ポルト・アレグレ地方 日系、伯人 青年	90名	1975年認可	臨時執務	なし	
イボチ移住地日伯文化体育協会 ASSOCIAÇÃO CULTURAL E ESPORTIVA NIPO-BRASILEIRA DA COLONIA IVOTI	田 中 照 夫 TERUO TANAKA 任期 1年	リオ・グランデ・ド・スール州 a/c COLONIA JAPONESA, VALE DAS PALMEIRAS, IVOTI, EST. DE RIO GRANDE DO SUL, BRASIL CEP-93900 (仮事務所)	イボチ地区 旧系人	50名	1981年3月 認可	臨時執務	なし	
イボチ感愛協同組合 COOPERATIVA FORTIGRANJEIRA MISTA IVOTI LTDA	上 村 栄 次 郎 EIJIRO KAMIMURA 任期 1年	リオ・グランデ・ド・スール州(組合事務所) a/c COLONIA JAPONESA, VALE DAS PALMEIRAS, IVOTI, EST. DE RIO GRANDE DO SUL, BRASIL CEP-93900	イボチ地方 開業者	34名	1972年認可	臨時事務所 事務員 3名	なし	
サンタ・マリア日伯文化協会 SOCIEDADE NIPO-BRASILEIRA DE SANTA MARIA	井 口 三 郎 SABURO IGUCHI 任期 1年	リオ・グランデ・ド・スール州 RUA ANGELO UGLIONE, MERCADO ITAIMBE BANCA 18 SANTAMARIA, RS-97050 0551-226-1486	リオ・グラ ンデ・ド・スール州サ ンタ・マリ ア地方日系 人	28名	1977年認可	臨時執務	なし	